

令和 3 年度

# 宇部市下水道事業年報

R3. 4. 1 ~ R4. 3. 31

下水道事業会計



# 目 次

## 概 要

1 公共下水道の沿革	6
2 公共下水道の推移	11
3 令和3年度事業概況	11

## 施 設

1 処理場	14
2 ポンプ場	16
3 管渠	22

## 維持管理

1 処理場	24
2 ポンプ場	32
3 修繕工事施工実績	35
4 排水設備等工事検査実績	35
5 下水道排水設備整備資金	35
6 地下埋設物占用協議実績	35

## 財 務

1 経営指標	38
2 損益計算書	42
3 資本的収入・支出及び補てん財源内訳	44
4 貸借対照表	46
5 汚水処理原価及び使用料単価	48
6 下水道使用料	50
7 受益者負担金	53

## そ の 他

1 機構図	56
2 事務分掌	57
3 職員構成	58
4 参考資料	59



# 概 要

- 1 公共下水道の沿革
- 2 公共下水道の推移
- 3 令和3年度事業概況

## 1 公共下水道の沿革

宇部市の下水道は明治の終わりごろ、石炭の積出港として新川地区が市街地を形成し、その人口の急激な増加に伴い衛生上の問題から簡易下水道工事に着手したのが始まりです。

その後、市街地が東西に発展したことから、大正 10 年の市制施行にあたって、下水道の補充・改築が初めて計画され延長約 14,600 メートルの排水管工事に取りかかりました。

戦後は戦災復興事業と併せて、市街地の中心部を流れる真締川を境として東西の処理区に分割し、処理場 2 箇所を含む 479 ヘクタールの合流式下水道計画を樹立して昭和 23 年に事業認可を受け事業に着手し、西部処理区は昭和 36 年 5 月に、東部処理区は昭和 37 年 9 月に供用開始をしました。

その後、分流式による事業に着手し、現在は、全体計画面積 3,721 ヘクタールとし、そのうち事業計画面積 3,664 ヘクタールの区域内において整備を進め、令和 4 年 3 月 31 日現在、3,078 ヘクタールの整備を終えています。

楠地区については平成 7 年に旧楠町により楠処理区として下水道計画を樹立しており、全体計画面積を 180 ヘクタールとし、そのうち事業計画面積 180 ヘクタールの区域内において整備を進め、令和 4 年 3 月 31 日現在、166 ヘクタールの整備を終えています。

そして、平成 3 年に設立された宇部・阿知須公共下水道組合が平成 9 年度から整備を進めてきた阿知須処理区については、令和 3 年 3 月 31 日の組合解散に伴い宇部市が承継し、全体計画面積 334 ヘクタール、事業計画面積 334 ヘクタールの区域内において整備を進め、令和 4 年 3 月 31 日現在、248 ヘクタールの整備を終えています。また、承継に際し、汚水処理事務を山口市に委託するとともに、阿知須処理区一部であった吉田分区分については東部処理区に統合しました。

以上のような経緯により、東部、西部、楠、阿知須の 4 処理区からなる宇部市の公共下水道事業において、下水道処理人口普及率は令和 4 年 3 月 31 日現在で 78.6%となっています。

平成 22 年 4 月 1 日、地方公営企業法の財務規定等の一部適用を行いました。

平成 26 年 4 月 1 日、上水道事業と下水道事業とが組織統合を行い上下水道局が発足し、地方公営企業法の全部適用を行いました。

(東部・西部処理区)

年月日	項目	備考	
昭和 23 年 4 月 26 日	当初	排水区域 479.27ha 計画人口 71,890 人	合流式
昭和 33 年 7 月 29 日	第 1 回変更 事業認可	排水区域 510.03ha 計画人口 102,010 人	東部処理場を芝中沖に変更 J R 北部(鶉の島) 30.76ha 真締川ポンプ場新設
昭和 35 年 11 月 2 日	第 2 回変更 事業認可	鶉の島ポンプ場新設	
昭和 36 年 5 月 12 日	西部処理区 供用開始	西部処理場処理開始	

年月日	項目	備考	
昭和37年9月1日	東部処理区 供用開始	東部処理場処理開始	
昭和39年8月12日	第3回変更 事業認可	排水区域 541.56ha 計画人口 108,320人	文京町、小松原、医大 31.53ha増
昭和40年6月2日	第4回変更 事業認可	排水区界の変更	
昭和41年1月18日	第5回変更 事業認可	排水区界の変更	
昭和43年3月27日	第6回変更 事業認可	排水方式の変更 (分流式、合流式) 汚水 932.65ha 雨水 477.06ha 計画人口 164,670人	一部分流を導入 上宇部、恩田、五十目山、笹山、 岬 計 391.09ha増
昭和50年5月24日	第7回変更 事業認可	排水方式の変更 (分流式、一部合流) 排水区域 汚水 2,121ha 雨水 2,211ha 計画人口 159,000人	藤曲、小串、中宇部、草江 計 1,188.35ha増
昭和59年度		『東洋のレマン湖常盤湖を守る下水道』 (アピール下水道)採択	
昭和59年7月5日	第8回変更 事業認可	降雨強度の変更 排水区域 3,546ha 計画人口 163,940人	西岐波 415ha、厚南 769ha 平原、桃山、常盤湖周辺 241ha 計 1,425ha増
平成元年度		『いこいの水辺琴芝雨水幹線(塩田川)』 (アピール下水道)採択	
平成3年3月27日	第9回変更 事業認可	排水区域 3,677ha 計画人口 139,000人	計画区域及び計画人口の見直し、 新都市 131ha増
平成6年7月22日	第10回変更 事業認可	排水区域 3,695ha 計画人口 139,800人	宇部臨空頭脳パーク 18ha増 処理場を浄化センターに名称変更
平成7年9月13日		『梅田川3号雨水幹線』 (水循環・再生下水道モデル事業)採択	
平成9年2月24日	第11回変更 事業認可	排水区域 3,719ha 計画人口 140,900人	宇部新都市周辺 24ha増
平成10年7月3日	第12回変更 事業認可	排水区域 3,744ha 計画人口 146,200人	ひらき台、厚南の一部 25ha増
平成12年9月27日		『梅田川3号雨水幹線』(水循環・再生下水道モデル事業) が、建設大臣賞「甞る水100選」を受賞	
平成17年3月31日	第13回変更 事業認可	排水区域 3,744ha 計画人口 133,100人	

年月日	項目	備考
平成19年 3月30日	第14回変更 事業認可	草江ポンプ場敷地内の主要な施設の変更
平成19年 9月 4日	第15回変更 事業認可	玉川ポンプ場施設の変更
平成22年 3月31日	—	宇部市公共下水道事業認可（第16回変更認可）へ統合

(楠処理区)

年月日	項目	備考
平成 7年 1月 5日	当初	排水区域 49ha 計画人口 2,000人 船木中心地
平成10年 8月26日	第1回変更 事業認可	処理場敷地・能力変更
平成11年 2月 5日	第2回変更 事業認可	排水区域 99ha 計画人口 2,900人 上鈍々、沖、下田町 13.7ha 宗方、神元、神元工業団地 36.3ha 計 50ha 増
平成12年11月 1日		楠浄化センター供用開始
平成15年 5月15日	第3回変更 事業認可	排水区域 154ha 計画人口 3,450人 船木内の隣接地 9.3ha 堂城ヶ丘 11ha 東万倉内の隣接地 34.7ha 計 55ha 増
平成16年10月27日	第4回変更 事業認可	排水区域 181ha 計画人口 4,400人 有帆川右岸の茶屋、大船台、 真名ヶ崎 計 27ha 増
平成22年 3月31日	—	宇部市公共下水道事業認可（第16回変更認可）へ統合

(東部・西部・楠処理区)

年月日	項目	備考
平成22年 3月31日	第16回変更 事業計画	排水区域 汚水 3,927ha 雨水 3,925ha 計画人口 128,100人 楠処理区と事業認可の統合
平成24年 7月18日	第17回変更 事業計画	排水区域 汚水 3,927ha 雨水 3,925ha 計画人口 121,200人 全体計画の見直しに伴う計画諸元、処理施設、幹線管渠の変更
平成30年 3月29日	第18回変更 事業計画	排水区域 汚水 3,927ha 雨水 3,925ha 計画人口 115,200人 計画諸元、玉川ポンプ場、東部・西部処理場の変更

年月日	項目	備考	
令和3年2月26日	第19回変更 事業計画	排水区域 汚水 3,844ha 雨水 3,726ha 計画人口 116,600人	計画区域及び 計画人口の見直し 阿知須処理区の吉田分区 117haを東部処理区に統合

(阿知須処理区)

年月日	項目	備考	
平成元年12月19日	当初	旧阿知須町 排水区域 94ha 計画人口 3,440人	旧阿知須町単独
平成3年7月9日	第1回変更 事業計画	旧阿知須町 排水区域 94ha 計画人口 3,440人	旧阿知須町から宇部・阿知須公共 下水道組合へ事業主体を移行
平成4年5月25日	第2回変更 事業計画	旧阿知須町 排水区域 汚水 94ha 雨水 9ha 計画人口 3,440人	
平成7年4月1日	阿知須処理 区供用開始	阿知須浄化センター処 理開始	
令和8年9月5日	第3回変更 事業計画	宇部市 排水区域 141ha 計画人口 3,000人 旧阿知須町 排水区域 99ha 計画人口 3,500人	日ノ山、吉田分区追加 吉田分区は東部浄化センターへ暫 定送水
平成10年7月6日	第4回変更 事業計画	宇部市 排水区域 261ha 計画人口 5,600人 旧阿知須町 排水区域 99ha 計画人口 3,500人	扇田、岐波分区追加
平成13年7月11日	第5回変更 事業計画	宇部市 排水区域 261ha 計画人口 5,700人 旧阿知須町 排水区域 192ha 計画人口 5,700人	

年月日	項目	備考	
平成17年8月8日	第6回変更 事業計画	宇部市 排水区域 297ha 計画人口 6,600人 旧阿知須町 排水区域 216ha 計画人口 6,400人	扇田、岐波、丸尾、吉田分区追加
平成20年9月30日	第7回変更 事業計画	宇部市 排水区域 327ha 計画人口 6,300人 山口市 排水区域 218ha 計画人口 5,300人	扇田、岐波、丸尾、吉田分区追加
平成23年1月5日	第8回変更 事業計画	宇部市 排水区域 447ha 計画人口 7,600人 山口市 排水区域 218ha 計画人口 5,300人	岐波、丸尾分区追加
令和26年7月7日	第9回変更 事業計画	宇部市 排水区域 478ha 計画人口 8,300人 山口市 排水区域 219ha 計画人口 5,200人	扇田、岐波、丸尾、沖田、吉田分区追加
平成30年11月12日	第10回変更 事業計画	宇部市 排水区域 478ha 計画人口 8,300人 山口市 排水区域 219ha 計画人口 5,200人	下水道法改正に伴う変更
令和3年2月26日	第11回変更 事業計画	宇部市 排水区域 334ha 計画人口 7,000人	計画区域及び計画人口の見直し 阿知須処理区の吉田分区 117ha を 東部処理区に統合

## 2 公共下水道の推移

項目	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
行政区域内人口（人）	161,184	145,834	146,588	147,807	148,768
全体計画面積（ha）	4,235	5,462	5,462	5,462	5,462
現在処理区域面積（ha）	3,493	3,045	3,044	3,043	3,041
現在処理区域内人口（人）	126,712	119,146	119,390	120,101	120,663
現在水洗便所設置済人口（人）	121,941	114,925	114,986	115,534	115,661
事業別（人口）普及率（％）	78.6	81.7	81.4	81.3	81.1
進捗率（％）	82.5	55.7	55.7	55.7	55.7
水洗化率（％）	96.2	96.5	96.3	96.2	95.9
年間総処理水量（m <sup>3</sup> ）	20,504,243	20,112,112	19,614,036	21,275,691	20,958,655
年間有収水量（m <sup>3</sup> ）	12,929,956	12,381,256	12,301,158	12,329,737	12,427,512
有収率（％）	70.7	69.1	69.1	64.1	65.8

※ 令和2年度以前は宇部・阿知須公共下水道組合分を除く。

## 3 令和3年度事業概況

主な事業概況は次のとおりです。

（整備状況）

現在処理区域面積は、3,493haで、前年度に比べて448ha（14.7％）の増加となりました。

（排水状況）

年間総処理水量は、20,504,243 m<sup>3</sup>で、前年度に比べて392,131 m<sup>3</sup>（1.9％）の増加となりました。

また、年間有収水量は、12,929,956 m<sup>3</sup>で、前年度に比べて548,700 m<sup>3</sup>（4.4％）の増加となりました。

（水洗化状況）

現在水洗便所設置済人口は、121,941人で、前年度に比べて7,016人（6.1％）の増加となりました。



# 施 設

- 1 処理場
- 2 ポンプ場
- 3 管渠

※ 宇部市域内の施設のみ掲載

## 1 処理場

### (1) 東部浄化センター

所在地	宇部市大字沖宇部字沖の山
敷地面積	58,019 m <sup>2</sup>
使用開始	昭和 37 年 9 月 1 日
認可計画処理人口	64,700 人
認可計画処理面積	2,015.1 ha
処理能力	64,870 m <sup>3</sup> /日
水処理方式	標準活性汚泥法 凝集剤添加ステップ流入式多段硝化脱窒法

主要施設	数量	概要				
最初沈殿池	1 池	合流系	鉄筋コンクリート造	幅5.5m	深2.5m	長28.0m
	1 池	分流系	鉄筋コンクリート造	幅5.5m	深2.5m	長28.0m
反応タンク	1 池	合流系	鉄筋コンクリート造	幅5.5m	深4.0m	長73.0m
	1 池	分流系	鉄筋コンクリート造	幅5.5m	深4.0m	長73.0m
	4 池	分流系	鉄筋コンクリート造	幅6.5m	深5.5m	長60.0m
最終沈殿池	1 池	合流系	鉄筋コンクリート造	幅5.5m	深3.0m	長40.0m
	1 池	分流系	鉄筋コンクリート造	幅5.5m	深3.0m	長40.0m
	4 池	分流系	鉄筋コンクリート造	幅6.5m	深3.5m	長40.0m
塩素混和池	2 池		鉄筋コンクリート造	幅2.0m	深2.5m	長15.0m

### (2) 西部浄化センター

所在地	宇部市大字藤曲字沖土手下
敷地面積	59,816 m <sup>2</sup>
使用開始	昭和 36 年 5 月 12 日
認可計画処理人口	49,100 人
認可計画処理面積	1,649.3 ha
処理能力	27,459 m <sup>3</sup> /日
水処理方式	標準活性汚泥法 ステップ流入式多段硝化脱窒法

主要施設	数量	概要				
最初沈殿池	3 池	合流系	鉄筋コンクリート造	幅6.0m	深2.9m	長22.0m
	2 池	分流系	鉄筋コンクリート造	幅6.0m	深3.0m	長12.0m
	3 池	分流系	鉄筋コンクリート造	幅6.5m	深3.0m	長11.0m
反応タンク	3 池	合流系	鉄筋コンクリート造	幅6.0m	深4.0m	長60.8m
	2 池	分流系	鉄筋コンクリート造	幅6.0m	深4.0m	長60.0m
	3 池	分流系	鉄筋コンクリート造	幅7.0m	深4.5m	長62.0m
最終沈殿池	3 池	合流系	鉄筋コンクリート造	幅6.0m	深2.9m	長32.0m
	2 池	分流系	鉄筋コンクリート造	幅6.5m	深3.0m	長29.5m
	3 池	分流系	鉄筋コンクリート造	幅7.0m	深3.5m	長34.0m
塩素混和池	1 池		鉄筋コンクリート造	幅3.0m	深4.5m	長37.0m

(3) 楠浄化センター

所在地	宇部市大字船木字椿本及び字四郎丸田
敷地面積	14,849 m <sup>2</sup>
使用開始	平成 12 年 11 月 1 日
認可計画処理人口	2,800 人
認可計画処理面積	179.6 ha
処理能力	1,800 m <sup>3</sup> /日
水処理方式	オキシデーショondiッチ法+急速ろ過

主要施設	数量	概 要
反応タンク	2 池	分流系 鉄筋コンクリート造 幅3.5m 深2.5m 長107.3m
最終沈殿池	2 池	分流系 鉄筋コンクリート造 φ12.0m 深3.5m
紫外線消毒槽	1 池	鉄筋コンクリート造 幅0.5m 深0.5m 長11.45m

※ 標準活性汚泥法

最初沈殿池、反応タンク及び最終沈殿池で構成される代表的な高級処理施設で実施される水処理方式。最初沈殿池を越流した汚水は反応タンクに流入し、タンク内で一定時間連続的にエアレーションを受ける。その後、活性汚泥混合液は最終沈殿池に流入し上澄水と沈殿した活性汚泥に固液分離される。最終沈殿池での上澄水は処理水として越流し消毒後放流される。

※ 凝集剤添加ステップ流入式多段硝化脱窒法

窒素除去を目的とした循環式硝化脱窒法の無酸素タンク及び好気タンクの組合せをユニットとして2～4段直列に配置し、初沈流出水又は初沈バイパス水を各ユニットにステップ流入させ、凝集剤を添加することで既存の生物処理による機能に物理化学的りん除去機能を付加した方式。

※ ステップ流入式多段硝化脱窒法

凝集剤添加ステップ流入式多段硝化脱窒法で凝集剤を添加しない方式。

※ オキシデーショondiッチ法

最初沈殿池を設けず、機械式エアレーション装置を有する無終端水路を反応タンクとし低負荷で活性汚泥処理を行い、最終沈殿池で固液分離を行う一連の下水処理方式。

## 2 ポンプ場

### 東部処理区

#### (1) 芝中ポンプ場

所在地 宇部市港町二丁目  
敷地面積 5,270 m<sup>2</sup>  
使用開始 昭和 35 年 11 月  
揚水能力 汚水 84.330 m<sup>3</sup>/分  
雨水 733.0 m<sup>3</sup>/分

主要施設	数量	概要		
汚水ポンプ	1	合流 口径 300mm	出力 30.0 k w	揚水能力 7.800m <sup>3</sup> /分
	2	合流 口径 300mm	出力 30.0 k w	揚水能力 10.000m <sup>3</sup> /分
	1	合流 口径 150mm	出力 13.0 k w	揚水能力 5.200m <sup>3</sup> /分
	1	分流 口径 400mm	出力 75.0 k w	揚水能力 23.130m <sup>3</sup> /分
	2	分流 口径 300mm	出力 37.0 k w	揚水能力 11.600m <sup>3</sup> /分
	1	分流 口径 150mm	出力 13.0 k w	揚水能力 5.000m <sup>3</sup> /分
雨水ポンプ	1	合流 口径 700mm	出力 132.0 k w	揚水能力 90.0m <sup>3</sup> /分
	1	合流 口径 1000mm	出力 130 p s	揚水能力 120.0m <sup>3</sup> /分
	1	合流 口径 1000mm	出力 180 p s	揚水能力 120.0m <sup>3</sup> /分
	1	合流 口径 1350mm	出力 360 p s	揚水能力 221.0m <sup>3</sup> /分
	1	分流 口径 1200mm	出力 375 p s	揚水能力 182.0m <sup>3</sup> /分

#### (2) 神原ポンプ場

所在地 宇部市琴芝町二丁目 3  
敷地面積 468 m<sup>2</sup>  
使用開始 昭和 44 年 5 月  
揚水能力 汚水 28.320 m<sup>3</sup>/分

主要施設	数量	概要		
汚水ポンプ	2	分流 口径 250mm	出力 18.5 k w	揚水能力 7.500m <sup>3</sup> /分
	2	分流 口径 250mm	出力 11.0 k w	揚水能力 6.660m <sup>3</sup> /分

#### (3) 八王子ポンプ場

所在地 宇部市明神町一丁目  
敷地面積 4,788 m<sup>2</sup>  
使用開始 昭和 48 年 3 月  
揚水能力 汚水 30.100 m<sup>3</sup>/分  
雨水 660.0 m<sup>3</sup>/分

主要施設	数量	概 要
汚水ポンプ	1	分流 口径 250mm 出力 15.0 k w 揚水能力 6.200m <sup>3</sup> /分
	1	分流 口径 350mm 出力 22.0 k w 揚水能力 12.000m <sup>3</sup> /分
	1	分流 口径 250mm 出力 18.5 k w 揚水能力 6.900m <sup>3</sup> /分
	1	分流 口径 150mm 出力 13.0 k w 揚水能力 5.000m <sup>3</sup> /分
雨水ポンプ	1	分流 口径 1350mm 出力 250.0 k w 揚水能力 220.0m <sup>3</sup> /分
	1	分流 口径 1350mm 出力 250 k w (DE) 揚水能力 220.0m <sup>3</sup> /分
	1	分流 口径 1350mm 出力 350 p s 揚水能力 220.0m <sup>3</sup> /分

※ DEはディーゼルエンジン

(4) 草江ポンプ場

所在地 宇部市亀浦五丁目  
敷地面積 22,491 m<sup>2</sup>  
使用開始 昭和 55 年 3 月 平成 24 年 8 月 新築  
揚水能力 汚水 18.600 m<sup>3</sup>/分

主要施設	数量	概 要
汚水ポンプ	3	分流 口径 200mm 出力 22.0 k w 揚水能力 6.200m <sup>3</sup> /分

(5) 常盤湖周辺第一ポンプ場

所在地 宇部市常盤台二丁目  
敷地面積 199 m<sup>2</sup>  
使用開始 昭和 62 年 3 月  
揚水能力 汚水 1.500 m<sup>3</sup>/分

主要施設	数量	概 要
汚水ポンプ	3	分流 口径 100mm 出力 3.7 k w 揚水能力 0.500m <sup>3</sup> /分

(6) 常盤湖周辺第二ポンプ場

所在地 宇部市開五丁目  
敷地面積 88 m<sup>2</sup>  
使用開始 昭和 62 年 3 月  
揚水能力 汚水 1.200 m<sup>3</sup>/分

主要施設	数量	概 要
汚水ポンプ	2	分流 口径 100mm 出力 5.5 k w 揚水能力 0.600m <sup>3</sup> /分

(7) 常盤湖周辺第三ポンプ場

所在地 宇部市大字沖宇部字常盤  
敷地面積 288 m<sup>2</sup>  
使用開始 昭和 63 年 3 月  
揚水能力 汚水 2.000 m<sup>3</sup>/分

主要施設	数量	概 要
汚水ポンプ	2	分流 口径 100mm 出力 7.5 k w 揚水能力 1.000m <sup>3</sup> /分

(8) 西岐波ポンプ場

所在地 宇部市大字西岐波字江頭  
敷地面積 949 m<sup>2</sup>  
使用開始 平成 4 年 5 月  
揚水能力 汚水 16.900 m<sup>3</sup>/分

主要施設	数量	概要			
汚水ポンプ	1	分流 口径 200mm	出力 15.0 k w	揚水能力 4.200m <sup>3</sup> /分	
	1	分流 口径 150mm	出力 11.0 k w	揚水能力 3.100m <sup>3</sup> /分	
	1	分流 口径 200mm	出力 55.0 k w	揚水能力 4.800m <sup>3</sup> /分	
	1	分流 口径 200mm	出力 15.0 k w	揚水能力 4.800m <sup>3</sup> /分	

(9) 吉田ポンプ場

所在地 宇部市大字西岐波字前ヶ沢  
敷地面積 650 m<sup>2</sup>  
使用開始 平成 13 年 3 月  
揚水能力 汚水 2.800 m<sup>3</sup>/分

主要施設	数量	概要			
汚水ポンプ	2	分流 口径 100mm	出力 11.0 k w	揚水能力 1.400m <sup>3</sup> /分	

(10) 新浦ポンプ場

所在地 宇部市床波一丁目  
敷地面積 452 m<sup>2</sup>  
使用開始 昭和 53 年 4 月  
揚水能力 雨水 61.400 m<sup>3</sup>/分

主要施設	数量	概要			
雨水ポンプ	1	分流 口径 700mm	出力 40 k w (DE)	揚水能力 61.4m <sup>3</sup> /分	

※ DEはディーゼルエンジン

(11) 塩田川ポンプ場

所在地 宇部市寿町一丁目  
敷地面積 314 m<sup>2</sup>  
使用開始 昭和 37 年 3 月  
揚水能力 雨水 448.0 m<sup>3</sup>/分

主要施設	数量	概要			
雨水ポンプ	1	分流 口径 600mm	出力 37.0 k w	揚水能力 40.0m <sup>3</sup> /分	
	1	分流 口径 1200mm	出力 200 p s	揚水能力 198.0m <sup>3</sup> /分	
	1	分流 口径 1200mm	出力 230 p s	揚水能力 210.0m <sup>3</sup> /分	

西部処理区

(12) 西部浄化センター内

所在地 宇部市大字藤曲字沖土手下  
 敷地面積 59,816 m<sup>2</sup>  
 使用開始 昭和 36 年 5 月  
 揚水能力 汚水 81.900 m<sup>3</sup>/分  
 雨水 205.0 m<sup>3</sup>/分

主要施設	数量	概 要			
第1 ポンプ施設					
汚水ポンプ	2	合流 口径 200mm	出力 11.0 k w	揚水能力 4.700m <sup>3</sup> /分	
	2	合流 口径 300mm	出力 18.5 k w	揚水能力 9.400m <sup>3</sup> /分	
雨水ポンプ	1	合流 口径 900mm	出力 130 p s	揚水能力 96.0m <sup>3</sup> /分	
	1	合流 口径 600mm	出力 55.0 k w	揚水能力 46.0m <sup>3</sup> /分	
	1	合流 口径 900mm	出力 90.0 k w	揚水能力 63.0m <sup>3</sup> /分	
第2 ポンプ施設					
汚水ポンプ	2	分流 口径 300mm	出力 55.0 k w	揚水能力 12.000m <sup>3</sup> /分	
第3 ポンプ施設					
汚水ポンプ	2	分流 口径 300mm	出力 75.0 k w	揚水能力 12.000m <sup>3</sup> /分	
	1	分流 口径 200mm	出力 37.0 k w	揚水能力 5.700m <sup>3</sup> /分	

(13) 栄川ポンプ場

所在地 宇部市助田町  
 敷地面積 2,678 m<sup>2</sup>  
 使用開始 昭和 32 年 3 月  
 揚水能力 汚水 22.600 m<sup>3</sup>/分  
 雨水 344.0 m<sup>3</sup>/分

主要施設	数量	概 要			
汚水ポンプ	1	合流 口径 200mm	出力 11.0 k w	揚水能力 5.000m <sup>3</sup> /分	
	2	合流 口径 250mm	出力 15.0 k w	揚水能力 6.000m <sup>3</sup> /分	
	1	合流 口径 200mm	出力 15.0 k w	揚水能力 5.600m <sup>3</sup> /分	
雨水ポンプ	1	合流 口径 1000mm	出力 130 p s	揚水能力 120.0m <sup>3</sup> /分	
	1	合流 口径 800mm	出力 100 k w (DE)	揚水能力 90.0m <sup>3</sup> /分	
	1	合流 口径 1000mm	出力 230 p s	揚水能力 134.0m <sup>3</sup> /分	

※ DEはディーゼルエンジン

(14) 鶯の島ポンプ場

所在地 宇部市南浜町二丁目  
 敷地面積 3,255 m<sup>2</sup>  
 使用開始 昭和 42 年 3 月  
 揚水能力 汚水 28.360 m<sup>3</sup>/分  
 雨水 620.0 m<sup>3</sup>/分

主要施設	数量	概要			
汚水ポンプ	2	合流 口径 200mm	出力 11.0 k w	揚水能力 3.500m <sup>3</sup> /分	
	2	合流 口径 300mm	出力 37.0 k w	揚水能力 10.680m <sup>3</sup> /分	
雨水ポンプ	1	合流 口径 900mm	出力 250.0 k w	揚水能力 150.0m <sup>3</sup> /分	
	2	合流 口径 1100mm	出力 250 p s	揚水能力 150.0m <sup>3</sup> /分	
	1	合流 口径 1200mm	出力 300 p s	揚水能力 170.0m <sup>3</sup> /分	

(15)小串ポンプ場

所在地 宇部市西琴芝一丁目  
敷地面積 9,011 m<sup>2</sup>  
使用開始 平成 12 年 3 月  
揚水能力 汚水 10.600 m<sup>3</sup>/分  
雨水 1,200.0 m<sup>3</sup>/分

主要施設	数量	概要			
汚水ポンプ	2	分流 口径 200mm	出力 22.0 k w	揚水能力 5.300m <sup>3</sup> /分	
雨水ポンプ	1	分流 口径 1350mm	出力 340.0 k w	揚水能力 250.0m <sup>3</sup> /分	
	1	分流 口径 1350mm	出力 480 p s	揚水能力 250.0m <sup>3</sup> /分	
	1	分流 口径 2200mm	出力 1100 p s	揚水能力 700.0m <sup>3</sup> /分	

(16)真締川ポンプ場

所在地 宇部市松島町  
敷地面積 639 m<sup>2</sup>  
使用開始 昭和 32 年 3 月  
揚水能力 汚水 6.400 m<sup>3</sup>/分  
雨水 99.0 m<sup>3</sup>/分

主要施設	数量	概要			
汚水ポンプ	1	合流 口径 100mm	出力 3.7 k w	揚水能力 1.400m <sup>3</sup> /分	
	1	合流 口径 150mm	出力 5.5 k w	揚水能力 1.800m <sup>3</sup> /分	
	1	合流 口径 150mm	出力 6.5 k w	揚水能力 3.200m <sup>3</sup> /分	
雨水ポンプ	2	合流 口径 400mm	出力 22.0 k w	揚水能力 18.0m <sup>3</sup> /分	
	1	合流 口径 700mm	出力 50.0 k w	揚水能力 63.0m <sup>3</sup> /分	

(17)浜田ポンプ場

所在地 宇部市浜田二丁目  
敷地面積 837 m<sup>2</sup>  
使用開始 平成 3 年 3 月  
揚水能力 汚水 2.160 m<sup>3</sup>/分

主要施設	数量	概要			
汚水ポンプ	2	分流 口径 100mm	出力 15.0 k w	揚水能力 1.080m <sup>3</sup> /分	

阿知須処理区

(18) 岐波ポンプ場

所在地 宇部市大字東岐波字鹿ノ前  
 敷地面積 2,118 m<sup>2</sup>  
 使用開始 平成 13 年 3 月  
 揚水能力 汚水 5.400 m<sup>3</sup>/分

主要施設	数量	概 要			
汚水ポンプ	1	分流 口径 100mm	出力 22.0 k w	揚水能力 1.800m <sup>3</sup> /分	
	1	分流 口径 150mm	出力 37.0 k w	揚水能力 3.600m <sup>3</sup> /分	

(19) 沖田ポンプ場

所在地 宇部市大字東岐波字烏屋郷  
 敷地面積 302 m<sup>2</sup>  
 使用開始 平成 30 年 4 月  
 揚水能力 汚水 2.200 m<sup>3</sup>/分

主要施設	数量	概 要			
汚水ポンプ	2	分流 口径 100mm	出力 11.0 k w	揚水能力 1.100m <sup>3</sup> /分	

## 3 管渠

(m)

処理区	管種	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
東部	全体	432,950	340,586	339,228	337,791	336,620
	合流管	52,615	16,867	16,866	16,866	16,867
	污水管	329,283	285,376	284,415	283,472	282,434
	雨水管	51,051	38,343	37,947	37,453	37,319
西部	全体	350,163	321,721	320,430	318,888	317,879
	合流管	56,690	54,117	54,117	54,117	54,077
	污水管	272,369	250,325	249,070	247,528	246,559
	雨水管	21,104	17,279	17,243	17,243	17,243
楠	全体	29,374	29,219	29,180	29,180	29,180
	合流管	0	0	0	0	0
	污水管	29,374	29,219	29,180	29,180	29,180
	雨水管	0	0	0	0	0
阿知須	全体	58,604	-	-	-	-
	合流管	0	-	-	-	-
	污水管	58,604	-	-	-	-
	雨水管	0	-	-	-	-
合計	全体	871,091	691,526	688,838	685,859	683,679
	合流管	109,306	70,984	70,983	70,983	70,944
	污水管	689,630	564,920	562,665	560,180	558,173
	雨水管	72,155	55,622	55,190	54,696	54,562

※ 令和2年度以前は宇部・阿知須公共下水道組合分を除く

# 維持管理

- 1 処理場
- 2 ポンプ場
- 3 修繕工事施工実績
- 4 排水設備等工事検査実績
- 5 下水道排水設備整備資金
- 6 地下埋設物占用協議実績

※ 山口市への委託分を除く

# 1 処理場

## (1) 処理水量

(m<sup>3</sup>)

	東部浄化センター	西部浄化センター	楠浄化センター
平成29年度	11,676,920	9,025,912	255,823
平成30年度	12,155,489	8,870,730	249,472
令和元年度	10,934,637	8,434,856	244,543
令和 2年度	11,227,212	8,629,170	255,730
令和 3年度	11,251,271	8,420,146	252,816
4月	862,889	645,289	20,627
5月	1,019,483	801,836	22,730
6月	1,040,327	786,746	21,215
7月	1,027,943	702,399	21,045
8月	1,180,821	1,019,015	24,080
9月	1,081,533	777,228	21,344
10月	911,422	657,682	20,941
11月	869,711	647,644	20,493
12月	865,810	614,187	20,753
1月	819,857	594,919	20,382
2月	718,994	524,110	18,404
3月	852,481	649,091	20,802
月平均	937,606	701,679	21,068
月最大	1,180,821	1,019,015	24,080
月最小	718,994	524,110	18,404
日平均	30,825	23,069	693
日最大	42,890	53,105	1,742
日最小	23,354	17,327	628
晴天日日平均	29,011	20,185	671
晴天日日最大	37,929	26,366	742
晴天日日最小	23,922	17,327	637

※ 阿知須浄化センターの処理水量は580,010m<sup>3</sup>。これは総処理水量を、阿知須処理区における宇部市分有収水量と山口市分有収水量で按分して算出。

## (2) 電力量

(kwh)

	東部浄化センター	西部浄化センター	楠浄化センター
平成29年度	2,241,432	2,666,124	243,330
平成30年度	3,058,380	2,869,080	244,387
令和元年度	2,681,796	2,808,312	244,098
令和2年度	2,455,050	2,796,737	243,786
令和3年度	2,431,603	2,888,010	245,844
4月	209,107	230,764	18,726
5月	190,565	251,142	19,800
6月	183,540	248,179	20,268
7月	225,842	253,256	22,572
8月	232,866	283,716	23,658
9月	199,932	240,934	21,594
10月	202,470	242,843	20,832
11月	206,578	233,441	19,506
12月	198,097	232,662	20,010
1月	167,320	230,456	20,532
2月	173,947	208,350	18,420
3月	241,339	232,267	19,926
月平均	202,634	240,668	20,487
月最大	241,339	283,716	23,658
月最小	167,320	208,350	18,420
日平均	6,662	7,912	674

## (3) 水道使用量

(m<sup>3</sup>)

	東部浄化センター	西部浄化センター	楠浄化センター
平成29年度	20,706	11,626	235
平成30年度	15,163	10,984	233
令和元年度	11,774	11,615	358
令和2年度	11,334	10,809	239
令和3年度	10,790	10,651	201
4月	1,820		35
5月		2,195	
6月	1,798		37
7月		1,943	
8月	2,001		33
9月		1,495	
10月	1,351		34
11月		1,226	
12月	1,660		31
1月		1,756	
2月	2,160		31
3月		2,036	
月平均(検針月)	1,798	1,775	34
月最大(検針月)	2,160	2,195	37
月最小(検針月)	1,351	1,226	31
日平均	29.6	29.2	0.6

## (4) 脱水汚泥量 (m³)

	東部浄化センター	西部浄化センター	楠浄化センター
平成29年度	56,182	32,180	10,463
平成30年度	57,956	32,338	9,702
令和元年度	66,667	30,806	8,203
令和 2年度	73,168	33,288	11,359
令和 3年度	61,867	35,733	10,111
4月	6,198	2,844	1,037
5月	5,696	2,730	997
6月	5,781	2,823	846
7月	5,915	2,945	816
8月	4,733	2,883	843
9月	3,947	3,046	851
10月	4,815	4,069	819
11月	5,163	4,333	733
12月	5,016	2,280	734
1月	5,063	1,843	786
2月	4,883	3,099	740
3月	4,657	2,838	909
月平均	5,156	2,978	843
月最大	6,198	4,333	1,037
月最小	3,947	1,843	733
日平均	169	98	28
日最大	315	164	40
日最小	0	0	17

## (5) 脱水ケーキ量 (t)

	東部浄化センター	西部浄化センター	楠浄化センター
平成29年度	4,253	2,388	146
平成30年度	4,698	2,341	145
令和元年度	4,563	2,195	154
令和 2年度	4,164	2,443	166
令和 3年度	4,000	2,384	123
4月	349.65	217.48	12.09
5月	331.43	198.27	11.21
6月	348.38	201.72	11.79
7月	353.79	219.76	8.24
8月	296.41	188.82	7.62
9月	280.05	215.88	9.62
10月	290.57	257.03	7.33
11月	352.05	251.30	6.87
12月	367.88	111.82	10.61
1月	388.26	138.01	10.65
2月	338.46	205.05	11.17
3月	302.73	178.54	16.08
月平均	333.00	199.00	10.00
月最大	388.26	257.03	16.08
月最小	280.05	111.82	6.87
日平均	10.96	6.53	0.34
日最大	20.44	10.69	0.63
日最小	0.00	0.00	0.25

## (6) 降雨量

(mm)

	東部浄化センター	西部浄化センター
平成29年度	1,239.0	1,456.5
平成30年度	1,362.0	1,412.0
令和元年度	1,296.0	1,411.5
令和2年度	1,418.0	1,523.0
令和3年度	1,429.0	1,464.5
4月	70.0	70.5
5月	160.0	178.5
6月	119.0	157.0
7月	93.0	90.0
8月	621.0	566.5
9月	132.0	146.5
10月	1.0	1.5
11月	76.0	85.0
12月	17.0	21.5
1月	22.0	23.5
2月	22.0	25.0
3月	96.0	99.0
月平均	119.1	122.0
月最大	621.0	566.5
月最小	1.0	1.5
日平均	3.9	4.0
日最大	150.0	153.5
日最小	0.0	0.0

## (7) 薬品使用量

	次亜塩素酸 ナトリウム		高分子凝集剤			ポリ塩化 アルミニウム	ポリ塩化 第二鉄	水酸化 ナトリウム	
	東部浄化 センター (1)	西部浄化 センター (1)	東部浄化センター 余剰	消化 (kg)	西部浄化 センター (kg)	楠浄化 センター (1)	東部浄化 センター (kg)	楠浄化 センター (1)	東部浄化 センター (kg)
平成29年度	63,810	70,100	-	9,465	6,210	717	7,280	3,220	-
平成30年度	79,470	75,600	3,075	8,490	5,910	671	48,180	2,976	4,875
令和元年度	63,930	70,100	2,190	9,720	5,265	695	81,860	3,430	4,772
令和 2年度	63,930	79,100	2,115	8,940	6,570	735	66,850	3,768	3,739
令和 3年度	53,910	82,000	2,085	9,120	6,690	614	50,320	2,915	3,366
4月	4,560	7,500	195	765	645	60.0	7,630	296.4	260
5月	4,730	8,440	180	660	615	62.0	4,050	272.8	260
6月	4,190	7,360	180	795	555	52.5	3,580	264.0	249
7月	5,200	8,200	195	840	585	46.5	3,320	250.7	280
8月	4,950	10,900	135	645	570	54.5	3,690	247.3	250
9月	5,890	6,400	75	495	630	51.0	3,030	233.4	309
10月	5,460	9,750	180	690	705	46.5	3,580	220.1	420
11月	3,340	5,650	225	630	630	45.0	2,500	213.0	279
12月	3,720	6,020	210	735	300	46.5	4,650	220.1	529
1月	3,680	4,580	180	870	270	46.5	5,250	220.1	210
2月	3,800	3,220	180	1,125	510	42.5	4,720	200.5	170
3月	4,390	3,980	150	870	675	60.5	4,320	277.0	150
月平均	4,492.5	6,833.3	173.8	760.0	557.5	51.2	4,193.3	243.0	280.5
月最大	5,890	10,900	225	1,125	705	62.0	7,630	296.4	529
月最小	3,340	3,220	75	495	270	42.5	2,500	200.5	150
日平均	147.7	224.7	5.7	25.0	18.3	1.7	137.9	8.0	9.2
日最大	300	532.4	30	120	105	2.5	400	12.4	18
日最小	30	75.1	0	0	0	1.0	20	5.3	4

※ ポリ塩化アルミニウム、水酸化ナトリウムについて、令和元年度より使用量の単位を(1)にて表記

## (8) 水質管理

名称	採水	項目	単位	令和 3年度	令和 2年度	令和 元年度	平成 30年度	平成 29年度
東部浄化センター	流入水	水温	℃	20.5	20.8	21.0	21.0	20.4
		透視度	度	9.9	9.6	9.5	8.9	8.1
		水素イオン濃度 (pH)		7.1	7.1	7.1	7.1	7.0
		浮遊物質 (SS)	mg/l	116	101	89	95	123
		溶存酸素量 (DO)	mg/l	0.6	0.5	0.6	0.7	0.5
		化学的酸素要求量 (COD)	mg/l	67	56	54	57	62
		生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/l	132	86	92	96	128
		アンモニア性窒素	mg/l	15.3	18.4	15.0	17.0	17.0
		亜硝酸性窒素	mg/l	0.008	0.003	0.008	0.021	0.013
		硝酸性窒素	mg/l	0.11	0.27	0.11	0.14	0.13
		全窒素	mg/l	20.5	22.9	21.0	25.3	25.0
		全リン	mg/l	1.93	2.09	2.20	2.73	2.60
		ヘキサン抽出物質 (油分)	mg/l	8.0	9.0	11.0	9.4	13.0
		一般細菌	個/ml	970,000	7,454,000	1,628,000	1,595,000	5,283,000
	大腸菌群数	個/ml	125,000	89,000	107,000	113,000	180,000	
	放流水	水温	℃	22.5	22.3	22.6	22.1	20.4
		透視度	度	95	94	98	99	100
		水素イオン濃度 (pH)		6.8	6.9	6.8	6.9	7.0
		浮遊物質 (SS)	mg/l	2.9	2.9	3.3	2.8	3.0
		溶存酸素量 (DO)	mg/l	6.8	6.5	6.3	6.6	4.9
		化学的酸素要求量 (COD)	mg/l	6.7	6.6	7.2	6.9	7.3
		生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/l	2.0	1.1	2.5	1.6	2.5
		アンモニア性窒素	mg/l	1.10	0.50	5.10	3.61	6.40
亜硝酸性窒素		mg/l	0.03	0.01	0.04	0.08	0.17	
硝酸性窒素		mg/l	7.40	8.10	6.58	6.17	6.10	
全窒素		mg/l	9.4	9.7	12.0	11.1	13.1	
全リン		mg/l	1.68	1.52	1.60	1.62	1.90	
ヘキサン抽出物質 (油分)	mg/l	ND	ND	ND	ND	ND		
一般細菌	個/ml	194	642	87	86	236		
大腸菌群数	個/ml	9	8	1	1	1		

※ 水温、透視度については、採水時に測定したもの

※ その他は、公的機関で水質検査をしたもの

※ 年間平均値によるもの

※ ND (No Detect: 定量下限値未満) はゼロで集計

名称	採水	項目	単位	令和 3年度	令和 2年度	令和 元年度	平成 30年度	平成 29年度
西部浄化センター	流入水	水温	℃	21.2	21.3	21.6	20.9	20.6
		透視度	度	10.6	8.4	6.1	9.5	10.0
		水素イオン濃度(pH)		7.3	7.4	7.4	7.3	7.3
		浮遊物質質量(SS)	mg/l	248	142	208	165	171
		溶存酸素量(DO)	mg/l	1.6	1.6	1.3	0.9	0.9
		化学的酸素要求量(COD)	mg/l	132	75	116	91	88
		生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/l	212	106	208	157	200
		アンモニア性窒素	mg/l	26.0	28.6	27.0	20.2	21.0
		亜硝酸性窒素	mg/l	0.01	0.01	0.110	0.05	0.04
		硝酸性窒素	mg/l	0.27	0.38	0.16	0.28	0.16
		全窒素	mg/l	40.2	35.7	38.0	31.3	33.0
		全リン	mg/l	7.28	4.47	5.90	4.47	5.70
		ヘキササン抽出物質(油分)	mg/l	17.0	13.0	18.0	13.0	14.0
	一般細菌	個/ml	1,756,000	11,798,000	2,643,000	1,752,000	3,771,000	
	大腸菌群数	個/ml	185,000	134,000	182,000	153,000	269,000	
	放流水	水温	℃	21.8	21.8	21.8	21.5	21.2
		透視度	度	94.0	97.0	99	95	96
		水素イオン濃度(pH)		7.0	7.0	7.1	7.1	7.1
		浮遊物質質量(SS)	mg/l	2.6	2.1	2.6	3.4	3.0
		溶存酸素量(DO)	mg/l	5.8	5.8	7.2	7.3	7.3
		化学的酸素要求量(COD)	mg/l	7.3	7.2	7.4	7.7	7.5
		生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/l	1.4	1.1	1.5	1.8	2.4
		アンモニア性窒素	mg/l	0.10	0.40	0.30	0.80	1.90
亜硝酸性窒素		mg/l	ND	ND	ND	0.10	0.20	
硝酸性窒素		mg/l	5.50	6.00	6.50	7.40	8.80	
全窒素	mg/l	6.6	7.2	8.0	9.8	12.0		
全リン	mg/l	1.47	1.43	1.75	1.63	1.60		
ヘキササン抽出物質(油分)	mg/l	ND	ND	ND	ND	ND		
一般細菌	個/ml	84	710	314	351	790		
大腸菌群数	個/ml	0	7	44	62	40		

※ 水温、透視度については、採水時に測定したもの

※ その他は、公的機関で水質検査をしたもの

※ 年間平均値によるもの

※ ND(No Detect: 定量下限値未満)はゼロで集計

名称	採水	項目	単位	令和 3年度	令和 2年度	令和 元年度	平成 30年度	平成 29年度
桶 浄 化 セ ン タ ー	流入 水	水温	℃	19.9	19.8	20.1	20.1	20.2
		透視度	度	-	-	-	-	-
		水素イオン濃度(pH)		7.4	7.4	7.5	7.5	7.4
		浮遊物質質量(SS)	mg/l	187	185	182	179	228
		溶存酸素量(DO)	mg/l	1.9	1.9	1.8	1.6	1.7
		化学的酸素要求量(COD)	mg/l	140	128	156	137	142
		生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/l	223	162	246	218	247
		アンモニア性窒素	mg/l	31.3	26.1	36	30	31
		亜硝酸性窒素	mg/l	ND	ND	ND	ND	0.01
		硝酸性窒素	mg/l	0.10	0.40	0.10	0.10	0.10
		全窒素	mg/l	43.9	38.0	46.0	42.1	43.0
		全リン	mg/l	4.52	4.06	5.00	4.74	4.80
		ヘキサン抽出物質(油分)	mg/l	16.0	20.0	17.0	16.5	22.0
	一般細菌	個/ml	3,758,000	11,574,000	3,625,000	4,033,000	5,296,000	
	大腸菌群数	個/ml	191,000	209,000	184,000	201,000	356,000	
	放 流 水	水温	℃	19.5	19.7	19.6	19.8	19.6
		透視度	度	-	-	-	-	-
		水素イオン濃度(pH)		7.6	7.6	7.6	7.6	7.6
		浮遊物質質量(SS)	mg/l	0.8	1.1	1.3	1.0	0.7
		溶存酸素量(DO)	mg/l	9.2	8.9	9.4	9.2	9.0
		化学的酸素要求量(COD)	mg/l	5.8	5.7	6.0	5.7	5.6
		生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/l	0.7	0.8	0.6	0.8	0.8
アンモニア性窒素		mg/l	ND	0.09	ND	0.03	0.01	
亜硝酸性窒素		mg/l	ND	0.0	ND	ND	0.02	
硝酸性窒素		mg/l	0.90	0.50	0.50	0.94	0.79	
全窒素		mg/l	1.40	1.10	1.2	1.5	1.4	
全リン		mg/l	1.81	1.69	1.76	1.70	1.68	
ヘキサン抽出物質(油分)		mg/l	ND	ND	ND	ND	ND	
一般細菌	個/ml	62	963	162	62	72		
大腸菌群数	個/ml	1	1	3	2	3		

※ 公的機関で水質検査をしたもの

※ 年間平均値によるもの

※ ND(No Detect: 定量下限値未満)はゼロで集計

## 2 ポンプ場

### (1) 揚水量

(m<sup>3</sup>)

処理区	名称	令和 3年度	令和 2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	
東部	汚水	芝中ポンプ場	10,242,700	10,322,950	10,135,780	9,886,740	9,679,400
		神原ポンプ場	3,839,453	4,038,205	3,868,494	4,330,255	4,317,629
		八王子ポンプ場	1,546,990	1,601,123	1,448,950	1,431,707	1,417,669
		草江ポンプ場	2,665,376	3,008,067	2,492,028	2,566,689	2,542,620
		常盤湖周辺第一ポンプ場	162,384	148,383	148,209	151,716	158,268
		常盤湖周辺第二ポンプ場	144,780	146,112	147,252	149,454	149,958
		常盤湖周辺第三ポンプ場	50,874	47,136	41,220	36,192	36,000
		西岐波ポンプ場	1,464,768	1,634,006	1,304,580	1,636,498	1,641,152
	吉田ポンプ場	209,679	-	-	-	-	
	雨水	芝中ポンプ場	3,264,890	3,494,390	2,294,180	2,896,200	2,484,290
		八王子ポンプ場	644,820	408,980	327,800	249,260	200,640
		新浦ポンプ場	84,916	85,837	54,830	36,349	85,039
		塩田川ポンプ場	1,622,380	2,111,100	1,400,140	1,340,610	3,284,100
	西部	汚水	西部浄化センター内	8,420,146	8,629,170	8,434,856	8,870,730
栄川ポンプ場			1,202,380	1,246,270	1,309,070	1,286,130	1,311,890
鵜の島ポンプ場			1,861,437	2,284,438	2,141,309	2,095,602	2,421,728
小串ポンプ場			1,089,752	1,126,706	1,056,820	1,015,751	1,023,333
真締川ポンプ場			638,973	660,908	638,243	690,415	758,051
浜田ポンプ場			165,784	187,376	178,832	172,704	172,208
雨水		西部浄化センター内	1,146,021	1,346,528	1,162,540	781,060	510,260
		栄川ポンプ場	382,678	509,362	269,039	320,438	212,050
		鵜の島ポンプ場	719,140	700,850	476,390	554,630	390,600
		小串ポンプ場	5,676,356	5,665,890	4,454,552	4,670,030	3,682,466
真締川ポンプ場	130,851	186,579	124,137	123,966	124,542		
阿知須	汚水	岐波ポンプ場	532,410	-	-	-	-
		沖田ポンプ場	2,963	-	-	-	-

## (2) 運転時間

(h)

処理区	名称	令和 3年度	令和 2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	
東部	汚水	芝中ポンプ場	18,711.70 /8台	19,727.15 /8台	17,953.37 /8台	15,547.08 /8台	18,590.42 /8台
		神原ポンプ場	7,868.10 /4台	8,279.50 /4台	7,918.30 /4台	8,897.95 /4台	8,881.50 /4台
		八王子ポンプ場	5,886.25 /4台	5,985.68 /4台	5,366.72 /4台	5,576.77 /4台	5,212.05 /4台
		草江ポンプ場	7,165.00 /3台	8,086.20 /3台	6,699.00 /3台	6,899.70 /3台	6,835.00 /3台
		常盤湖周辺第一ポンプ場	5,412.80 /3台	4,946.10 /3台	4,940.30 /3台	5,057.20 /3台	5,275.60 /3台
		常盤湖周辺第二ポンプ場	2,413.00 /2台	2,435.20 /2台	2,454.20 /2台	2,490.90 /2台	2,499.30 /2台
		常盤湖周辺第三ポンプ場	847.90 /2台	785.60 /2台	687.00 /2台	603.20 /2台	600.00 /2台
		西岐波ポンプ場	5,327.50 /4台	5,846.00 /4台	5,518.40 /4台	5,754.70 /4台	5,682.10 /4台
	吉田ポンプ場	2,417.90 /2台	-	-	-	-	
	雨水	芝中ポンプ場	528.93 /5台	531.67 /5台	360.55 /5台	468.48 /5台	450.93 /5台
		八王子ポンプ場	51.95 /3台	35.43 /3台	31.17 /3台	25.25 /3台	20.43 /3台
		新浦ポンプ場	23.05 /1台	23.30 /1台	14.88 /1台	9.87 /1台	23.08 /1台
		塩田川ポンプ場	446.13 /3台	590.13 /3台	374.18 /3台	388.03 /3台	1,132.27 /3台
	西部	汚水	西部浄化センター内	17,939.42 /9台	19,738.00 /9台	20,439.95 /9台	27,303.90 /9台
栄川ポンプ場			5,645.20 /4台	7,221.57 /4台	7,411.35 /4台	7,207.97 /4台	8,092.20 /4台
鵜の島ポンプ場			6,183.50 /4台	7,782.62 /4台	7,133.73 /4台	6,988.30 /4台	7,879.77 /4台
小串ポンプ場			2,466.67 /2台	2,477.80 /2台	2,313.25 /2台	2,173.23 /2台	2,143.72 /2台
真締川ポンプ場			8,287.43 /3台	9,029.85 /3台	8,369.53 /3台	8,332.85 /3台	8,272.67 /3台
浜田ポンプ場			2,072.30 /2台	2,342.20 /2台	2,235.40 /2台	2,158.80 /2台	2,152.60 /2台
雨水		西部浄化センター内	407.82 /3台	480.83 /3台	410.18 /3台	280.83 /3台	183.67 /3台
		栄川ポンプ場	53.80 /3台	71.30 /3台	38.62 /3台	47.60 /3台	30.65 /3台
		鵜の島ポンプ場	83.03 /4台	80.47 /4台	54.80 /4台	61.25 /4台	42.63 /4台
		小串ポンプ場	4,786.93 /3台	3,916.38 /3台	3,503.25 /3台	2,963.38 /3台	3,221.82 /3台
真締川ポンプ場	102.78 /3台	131.05 /3台	98.07 /3台	97.03 /3台	96.72 /3台		
阿知須	汚水	岐波ポンプ場	3,344.40 /2台	- /-台	- /-台	- /-台	- /-台
		沖田ポンプ場	44.90 /2台	- /-台	- /-台	- /-台	- /-台

## (3) 電力量

(kwh)

処理区	名称	令和 3年度	令和 2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
東部	芝中ポンプ場	509,055	535,368	517,968	524,934	553,608
	神原ポンプ場	133,726	136,471	137,582	145,159	148,592
	八王子ポンプ場	127,553	118,002	112,908	120,738	124,674
	草江ポンプ場	239,806	253,860	232,463	232,537	231,067
	常盤湖周辺第一ポンプ場	20,770	20,192	20,251	22,464	23,145
	常盤湖周辺第二ポンプ場	15,496	15,132	15,153	15,112	15,225
	常盤湖周辺第三ポンプ場	6,909	6,364	5,564	4,999	4,964
	西岐波ポンプ場	97,247	97,771	97,380	95,692	96,667
	新浦ポンプ場	4,663	4,347	3,998	3,639	2,289
	塩田川ポンプ場	18,753	23,634	17,144	22,877	30,654
	吉田ポンプ場	32,498	-	-	-	-
西部	西部浄化センター内	2,888,010	2,796,737	2,808,312	2,869,080	2,666,124
	栄川ポンプ場	110,063	115,826	122,113	112,975	148,950
	鶴の島ポンプ場	122,458	145,110	135,528	127,926	133,014
	小串ポンプ場	381,292	350,730	332,052	304,830	299,040
	真締川ポンプ場	63,580	64,797	65,371	67,616	67,394
	浜田ポンプ場	35,124	35,806	36,213	34,967	33,661
阿知須	岐波ポンプ場	143,442	-	-	-	-
	沖田ポンプ場	679	-	-	-	-

3 修繕工事施工実績 (件)

項目	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	
陥没	7	8	5	7	12	
舗装・路盤修繕	7	11	12	14	13	
污水管	修繕	1	3	0	0	1
雨水管	修繕	0	0	0	0	0
人孔	蓋取替	0	22	21	5	7
	本体修繕	0	0	1	1	10
柵	蓋取替	8	1	3	9	4
	修繕	8	1	3	1	7
取付管	修繕	22	3	7	0	0

※ 令和元年度以降は、業務委託による修繕工事件数を含む。平成30年度以前は、直営による修繕工事件数のみ。

4 排水設備等工事検査実績 (件)

申請区分	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
新築	422	345	370	432	376
増築・改築・建替	171	153	168	146	153
くみ取便所	60	41	26	31	32
合併処理浄化槽	66	16	21	24	33
単独処理浄化槽	19	14	20	22	22
合計	738	569	605	655	616

5 下水道排水設備整備資金

(1) 利子補給制度

対象となる設備	整備資金の額	利率	借入者の要件
くみ取便所 浄化槽	1件当たり 10万円以上65万円以下	融資金融機関の 長期プライムレ ートに0.1%を 加算した率	所有者又は所有者の同意を得た排水設備設置者 であること。 下水道事業受益者負担金の滞納がないこと。 市税の滞納がないこと。 公共下水道の供用開始の日から3年以内に行う 排水設備工事であること。 個人所有の居住用建物であること。

(2) 制度実績 (件、円)

	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
申請件数	1	0	1	1	0
交付件数	1	0	2	2	7
交付金額	17,357	0	46,853	31,858	143,886

※ 申請件数については、銀行却下・申請者取下げは除く。

6 地下埋設物占用協議実績 (件)

	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
申請件数	797	809	819	749	743



# 財 務

- 1 経営指標
- 2 損益計算書
- 3 資本的収入・支出及び補てん財源内訳
- 4 貸借対照表
- 5 汚水処理原価及び使用料単価
- 6 下水道使用料
- 7 受益者負担金

# 1 経営指標

## (7) 事業の概要

項目	令和 3年度	令和 2年度	令和 元年度	平成 30年度	平成 29年度	算 (令和)
(%) 事業別(人口) 普及率	78.6	81.7	81.4	81.3	81.1	$\frac{\text{現在処理区域内人口(人)}}{\text{行政区域内人口(人)}} \times 100$ (※)
(%) 進捗率	82.5	55.7	55.7	55.7	55.7	$\frac{\text{現在処理区域面積(ha)}}{\text{全体計画面積(ha)}} \times 100$
(円/月) 一般家庭用使用料 (1ヶ月20㎡当たり) (税込)	3,135	3,135	3,135	3,078	3,078	-
(人/ha) 処理区域内人口 密度	36.3	39.1	39.2	39.5	39.7	$\frac{\text{現在処理区域内人口(人)}}{\text{現在処理区域面積(ha)}}$

※ 令和2年度以前は、宇部・阿知須公共下水道組合が整備していた阿知須処理区の人口を除く。

## (4) 老朽化の状況

項目	令和 3年度	令和 2年度	令和 元年度	平成 30年度	平成 29年度	算 (令和)
(%) 有形固定資産減価 償却率	28.2	28.2	25.9	23.7	21.3	$\frac{\text{有形固定資産減価償却累計額(千円)}}{\text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価(千円)}} \times 100$
(%) 管渠老朽化率	6.6	7.6	6.5	5.6	5.1	$\frac{\text{法定耐用年数を経過した管渠延長(km)}}{\text{下水道布設延長(km)}} \times 100$
(%) 管渠改善率	0.6	0.9	0.4	0.6	1.1	$\frac{\text{改善(更新・改良・修繕)管渠延長(km)}}{\text{下水道布設延長(km)}} \times 100$

## (5) 施設の効率性

項目	令和 3年度	令和 2年度	令和 元年度	平成 30年度	平成 29年度	算 (令和)
(%) 施設利用率	53.0	53.2	53.0	46.4	38.2	$\frac{\text{現在晴天時平均処理水量(m³/日)}}{\text{現在処理能力(晴天時)(m³/日)}} \times 100$
(%) 有収率	70.7	69.1	69.1	64.1	65.8	$\frac{\text{年間有収水量(m³)}}{\text{年間汚水処理水量(m³)}} \times 100$
(%) 水洗化率	96.2	96.5	96.3	96.2	95.9	$\frac{\text{現在水洗便所設置済人口(人)}}{\text{現在処理区域内人口(人)}} \times 100$

## (6) 経営の効率性

項目	令和 3年度	令和 2年度	令和 元年度	平成 30年度	平成 29年度	算 (令和)
(円/m³) 使用料単価	170.83	170.36	171.87	171.34	171.03	$\frac{\text{使用料収入(千円)} \times 1,000}{\text{年間有収水量(m³)}}$
(円/m³) 汚水処理原価	161.15	146.89	153.25	147.40	144.78	$\frac{\text{汚水処理費(千円)} \times 1,000}{\text{年間有収水量(m³)}}$
(円/m³) 汚水処理原価 (維持管理費)	83.73	78.55	83.47	75.24	74.71	$\frac{\text{汚水処理費(維持管理費)(千円)} \times 1,000}{\text{年間有収水量(m³)}}$
(円/m³) 汚水処理原価 (資本費)	77.42	68.34	69.77	72.15	70.08	$\frac{\text{汚水処理費(資本費)(千円)} \times 1,000}{\text{年間有収水量(m³)}}$

式 3年度)	説明
$\frac{126,712}{161,184} \times 100$	事業の整備状況を表すものである。
$\frac{3,493}{4,235} \times 100$	全体計画に対しての進捗状況を表すものである。
—	一般家庭において1ヶ月当たり20㎡使用した場合に下水道使用料として徴収される金額である。
$\frac{126,712}{3,493}$	処理区域面積1ha当たりの処理区域内人口を表したものである。

式 3年度)	説明
$\frac{38,996,313}{138,407,658} \times 100$	有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標で、資産の老朽化度合を示している。
$\frac{57.53}{871} \times 100$	法定耐用年数を超えた管渠延長の割合を表した指標で、管渠の老朽化度合を示している。
$\frac{4.99}{871} \times 100$	当該年度に更新した管渠延長の割合を表した指標で、管渠の更新ペースや状況を把握できる。

式 3年度)	説明
$\frac{51,421}{97,089} \times 100$	施設がどの程度利用されているのかを示す。
$\frac{12,929,956}{18,296,206} \times 100$	有収率が高いほど使用料徴収の対象とできない不明水が少なく効率的であるといえることができる。
$\frac{121,941}{126,712} \times 100$	現在処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水を処理している人口の割合である。

式 3年度)	説明
$\frac{2,208,772}{12,929,956} \times 1,000$	有収水量1㎡当たりの使用料収入であり、使用料の水準を示す。
$\frac{2,083,624}{12,929,956} \times 1,000$	有収水量1㎡当たりの汚水処理費であり、その水準を示す。
$\frac{1,082,650}{12,929,956} \times 1,000$	有収水量1㎡当たりの汚水処理費（維持管理費）であり、その水準を示す。
$\frac{1,000,974}{12,929,956} \times 1,000$	有収水量1㎡当たりの汚水処理費（資本費）であり、その水準を示す。

項目	令和 3年度	令和 2年度	令和 元年度	平成 30年度	平成 29年度	算 (令和)
経費回収率 (%)	106.0	116.0	112.2	116.2	118.1	$\frac{\text{使用料収入 (千円)}}{\text{汚水処理費 (千円)}} \times 100$
経費回収率 (%) (維持管理費)	204.0	216.9	205.9	227.7	228.9	$\frac{\text{使用料収入 (千円)}}{\text{汚水処理費 (維持管理費) (千円)}} \times 100$
処理区域内人口1人当たりの管理運営費 (汚水分) (円/人)	16,444	15,264	15,789	15,132	14,912	$\frac{\text{管理運営費 (汚水分) (千円)}}{\text{現在処理区域内人口 (人)}} \times 1,000$
処理区域内人口1人当たりの維持管理費 (汚水分) (円/人)	8,544	8,162	8,601	7,725	7,694	$\frac{\text{維持管理費 (汚水分) (千円)}}{\text{現在処理区域内人口 (人)}} \times 1,000$
処理区域内人口1人当たりの資本費 (汚水分) (円/人)	7,900	7,102	7,189	7,407	7,217	$\frac{\text{資本費 (汚水分) (千円)}}{\text{現在処理区域内人口 (人)}} \times 1,000$
職員1人当たりの処理区域内人口 (人/人)	1,564	1,418	1,613	1,560	1,508	$\frac{\text{現在処理区域内人口 (人)}}{\text{職員数 (人)}}$ (※)
職員給与費対営業収益 (%)	16.8	17.5	17.5	18.1	18.9	$\frac{\text{職員給与費 (千円)}}{\text{営業収益-受託工事収益 (千円)}} \times 100$

※ 令和元年度以前は、再任用職員、臨時的任用職員及び嘱託職員を含まない。

(オ) 財政状況の健全性

項目	令和 3年度	令和 2年度	令和 元年度	平成 30年度	平成 29年度	算 (令和)
総収支比率 (%)	107.0	109.9	108.0	109.0	109.9	$\frac{\text{総収益 (千円)}}{\text{総費用 (千円)}} \times 100$
経常収支比率 (%)	106.9	109.9	108.0	109.1	110.1	$\frac{\text{経常収益 (千円)}}{\text{経常費用 (千円)}} \times 100$
累積欠損金比率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	$\frac{\text{当年度未処理欠損金 (千円)}}{\text{営業収益-受託工事収益 (千円)}} \times 100$
事業別資金不足比率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	$\frac{\text{資金不足額 (千円)}}{\text{営業収益-受託工事収益 (千円)}} \times 100$
企業債残高対事業規模比率 (%)	750.0	642.7	624.2	655.8	657.7	$\frac{\text{企業債現在高 - 一般会計負担額 (千円)}}{\text{営業収益-受託工事収益 - 雨水処理負担金 (千円)}} \times 100$
利子負担率 (%)	0.9	0.8	0.9	1.0	1.1	$\frac{\text{支払利息+企業債取扱諸費 (千円)}}{\text{企業債+長期借入金 + 一時借入金 (千円)}} \times 100$
自己資本構成比率 (%)	67.2	68.8	68.6	67.7	67.0	$\frac{\text{資本合計+繰延収益 (千円)}}{\text{負債・資本合計 (千円)}} \times 100$
固定資産対長期資本比率 (%)	98.2	98.2	98.4	98.9	99.5	$\frac{\text{固定資産 (千円)}}{\text{資本合計+固定負債+繰延収益 (千円)}} \times 100$
流動比率 (%)	166.0	167.7	165.8	139.8	117.5	$\frac{\text{流動資産 (千円)}}{\text{流動負債 (千円)}} \times 100$
処理区域内人口1人当たりの地方債現在高 (千円/人)	292	263	261	264	270	$\frac{\text{地方債現在高 (千円)}}{\text{現在処理区域内人口 (人)}}$

式 3年度)	説明
$\frac{2,208,772}{2,083,624} \times 100$	汚水処理に要した費用に対する、使用料による回収程度を示す指標である。
$\frac{2,208,772}{1,082,650} \times 100$	汚水処理（維持管理費）に要した費用に対する、使用料による回収程度を示す指標である。
$\frac{2,083,624}{126,712} \times 1,000$	現在処理区域内人口1人当たりに係る管理運営費（維持管理費と資本費の合計）である。
$\frac{1,082,650}{126,712} \times 1,000$	現在処理区域内人口1人当たりに係る維持管理費である。
$\frac{1,000,974}{126,712} \times 1,000$	現在処理区域内人口1人当たりに係る資本費である。
$\frac{126,712}{81}$	処理区域内人口を職員数で除したものである。
$\frac{503,264}{(3,002,257 - 0)} \times 100$	営業収益に対する職員給与費の割合である。営業収益が職員にどの程度分配されているかを示している。

式 3年度)	説明
$\frac{6,155,037}{5,753,063} \times 100$	総収益と総費用の比率を表したものである。100%未満であると総収支が赤字であることを示している。
$\frac{6,150,508}{5,752,065} \times 100$	経常収益と経常費用の比率を表したものである。100%未満であると経常収支が赤字であることを示している。
$\frac{0}{(3,002,257 - 0)} \times 100$	営業収益に対する累積欠損金の状況を表す指標である。
$\frac{0}{(3,002,257 - 0)} \times 100$	事業別に算出した資金の不足額と営業収益（受託工事収益を除く）の比率である。
$\frac{(36,948,335 - 20,382,753)}{(3,002,257 - 0 - 793,447)} \times 100$	使用料収入に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す指標である。
$\frac{(317,235 + 0)}{(36,948,335 + 0 + 0)} \times 100$	有利子の負債に対する支払利息の割合である。利子負担率が高くなるとその後の経営を圧迫する要因の一つとなる。
$\frac{(24,570,789 + 51,901,195)}{113,734,582} \times 100$	総資本に占める資本の割合であり、財政状況の長期的な安全性を見る指標である。
$\frac{108,820,621}{(24,570,789 + 34,301,618 + 51,901,195)} \times 100$	資金が長期的拘束される固定資産が、どの程度資本や企業債によって調達されているかを示したものである。100%以上の場合、不良債務発生の原因となる。
$\frac{4,913,961}{2,960,980} \times 100$	短期債務に対して応ずるべき流動資産が十分にあるかどうかを示し、大きいほど支払能力があることを示す。
$\frac{36,948,335}{126,712}$	地方債現在高を処理区域内人口で除したものである。

## 2 損益計算書

科目	令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率
	円	%	円	%	円	%
事業収益	6,155,037,781	100.0	5,859,840,693	100.0	6,004,013,603	100.0
営業収益	3,002,256,854	48.8	2,885,699,795	49.2	2,934,874,967	48.9
下水道使用料	2,208,772,170	35.9	2,109,222,674	36.0	2,114,243,634	35.2
他会計負担金	793,447,284	12.9	776,396,621	13.2	820,568,133	13.7
その他営業収益	37,400	0.0	80,500	0.0	63,200	0.0
営業外収益	3,148,251,639	51.1	2,973,948,429	50.8	3,066,764,467	51.1
受取利子及び配当金	430,229	0.0	727,341	0.0	829,625	0.0
他会計負担金	779,851,633	12.7	673,008,229	11.5	683,940,344	11.4
他会計補助金	304,005,450	4.9	199,257,960	3.4	202,005,918	3.4
工事負担金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
長期前受金戻入	2,001,143,419	32.5	2,016,969,351	34.4	2,111,755,138	35.2
雑収益	62,820,908	1.0	83,985,548	1.5	68,233,442	1.1
特別利益	4,529,288	0.1	192,469	0.0	2,374,169	0.0
過年度損益修正益	4,529,288	0.1	192,469	0.0	2,374,169	0.0
事業費用	5,753,063,394	100.0	5,330,273,924	100.0	5,558,999,000	100.0
営業費用	5,415,491,737	94.1	5,054,694,720	94.8	5,246,233,128	94.4
管渠費	139,387,135	2.4	118,666,738	2.2	136,672,299	2.5
ポンプ場費	270,361,477	4.7	276,481,327	5.2	264,372,989	4.8
処理場費	815,722,781	14.2	675,519,839	12.7	741,907,194	13.3
萩原団地汚水処理施設費	5,526,275	0.1	5,787,994	0.1	4,973,183	0.1
総係費	227,225,388	3.9	214,744,179	4.0	204,362,314	3.7
減価償却費	3,797,392,757	66.0	3,419,357,695	64.1	3,411,465,246	61.4
資産減耗費	159,875,924	2.8	344,136,948	6.5	482,479,903	8.6
営業外費用	336,573,874	5.9	275,188,332	5.2	312,516,831	5.6
支払利息及び企業債取扱諸費	317,235,325	5.5	256,828,910	4.8	295,129,486	5.3
雑支出	19,338,549	0.4	18,359,422	0.4	17,387,345	0.3
特別損失	997,783	0.0	390,872	0.0	249,041	0.0
固定資産売却損	43,341	0.0	5,800	0.0	—	—
過年度損益修正損	954,442	0.0	385,072	0.0	249,041	0.0
当年度純損益	401,974,387	—	529,566,769	—	445,014,603	—

平成30年度		平成29年度	
金額	構成比率	金額	構成比率
円	%	円	%
5,889,121,890	100.0	5,645,269,450	100.0
2,870,923,521	48.8	2,894,587,172	51.3
2,112,622,223	35.9	2,125,510,254	37.7
758,186,498	12.9	768,079,818	13.6
114,800	0.0	997,100	0.0
3,017,805,669	51.2	2,750,406,705	48.7
990,374	0.0	1,218,232	0.0
675,413,005	11.4	672,405,935	11.9
198,692,509	3.4	199,732,327	3.6
734,400	0.0	—	—
2,078,581,778	35.3	1,812,949,392	32.1
63,393,603	1.1	64,100,819	1.1
392,700	0.0	275,573	0.0
392,700	0.0	275,573	0.0
5,400,465,044	100.0	5,138,673,016	100.0
5,055,247,046	93.6	4,743,003,497	92.3
141,024,727	2.6	138,708,828	2.7
204,898,393	3.8	214,334,857	4.2
655,110,156	12.1	646,809,949	12.6
4,838,517	0.1	5,043,069	0.1
208,745,626	3.9	206,649,132	4.0
3,451,978,285	63.9	3,398,462,993	66.1
388,651,342	7.2	132,994,669	2.6
344,667,832	6.4	384,901,958	7.5
331,936,830	6.2	373,372,467	7.3
12,731,002	0.2	11,529,491	0.2
550,166	0.0	10,767,561	0.2
—	—	4,886,070	0.1
550,166	0.0	5,881,491	0.1
488,656,846	—	506,596,434	—

### 3 資本的収入・支出及び補てん財源内訳

科目	令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率
	円	%	円	%	円	%
資本的収入（税込）	4,617,521,882	100.0	5,096,484,930	100.0	4,073,097,993	100.0
（うち翌年度繰越工事財源）	(1,455,853,540)		(1,087,737,849)		(1,204,007,114)	
企業債	2,319,100,000	50.2	2,405,100,000	47.2	1,690,700,000	41.5
他会計出資金	538,555,535	11.7	381,403,545	7.5	359,649,998	8.8
国庫補助金	1,721,052,478	37.3	2,287,064,375	44.9	1,993,172,965	49.0
受益者負担金	38,754,830	0.8	22,667,610	0.4	29,575,030	0.7
固定資産売却代金	59,039	0.0	249,400	0.0	—	—
資本的支出（税込）	6,570,963,902	100.0	7,342,797,445	100.0	5,986,268,227	100.0
建設改良費	3,941,026,521	60.0	5,136,456,690	70.0	3,771,162,760	63.0
管渠事業費	3,655,602,602	55.7	4,621,189,789	62.9	2,488,823,604	41.6
処理場事業費	283,406,699	4.3	510,007,691	6.9	1,258,333,776	21.0
受益者負担金徴収事務費	623,260	0.0	635,470	0.0	577,756	0.0
固定資産購入費	1,393,960	0.0	4,623,740	0.1	23,427,624	0.4
企業債償還金	2,629,927,721	40.0	2,206,340,755	30.0	2,215,105,467	37.0
投資	9,660	0.0	—	—	—	—
資本的収入不足額（税込）※	3,409,295,560	—	3,334,050,364	—	3,117,177,348	—
消費税及び地方消費税資本的 収支調整額	138,845,216	—	217,742,628	—	119,692,030	—
繰越工事資金	1,087,737,849	—	1,204,007,114	—	877,259,747	—
減債積立金	200,000,000	—	200,000,000	—	200,000,000	—
建設改良積立金	47,000,000	—	0	—	190,000,000	—
損益勘定留保資金	1,935,712,495	—	1,712,300,622	—	1,730,225,571	—

※ 資本的収入（翌年度繰越工事財源を除く）が資本的支出に不足する額

平成30年度		平成29年度	
金額	構成比率	金額	構成比率
円	%	円	%
3,367,398,387	100.0	3,077,737,398	100.0
(877,259,747)		(446,855,941)	
1,343,900,000	39.9	1,143,500,000	37.1
401,680,284	11.9	420,090,089	13.6
1,583,942,477	47.1	1,464,627,071	47.6
28,046,030	0.8	44,640,130	1.5
9,829,596	0.3	4,880,108	0.2
5,097,567,972	100.0	4,963,309,608	100.0
2,865,742,032	56.2	2,730,466,520	55.0
1,683,905,187	33.0	1,813,567,335	36.6
1,157,210,277	22.7	914,087,346	18.4
576,877	0.0	624,240	0.0
24,049,691	0.5	2,187,599	0.0
2,231,818,080	43.8	2,232,836,338	45.0
7,860	0.0	6,750	0.0
2,607,429,332	—	2,332,428,151	—
78,480,898	—	79,034,287	—
446,855,941	—	253,786,165	—
200,000,000	—	200,000,000	—
100,000,000	—	100,000,000	—
1,782,092,493	—	1,699,607,699	—

4 貸借対照表

科目	令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率
	円	%	円	%	円	%
固定資産	108,820,621,351	95.7	97,000,516,560	95.8	95,862,162,423	96.1
有形固定資産	108,808,842,501	95.6	96,984,753,713	95.7	95,842,392,550	96.1
土地	2,623,404,048	2.3	2,529,455,527	2.5	2,529,710,727	2.6
建物	2,564,544,851	2.2	2,115,560,848	2.1	2,115,879,679	2.1
構築物	84,689,549,573	74.5	75,649,171,559	74.7	76,506,739,247	76.7
機械及び装置	12,147,616,466	10.7	12,261,046,457	12.1	12,792,578,034	12.8
車両運搬具	3,661,991	0.0	3,302,751	0.0	3,859,507	0.0
工具、器具及び備品	5,971,855	0.0	6,775,518	0.0	7,910,649	0.0
建設仮勘定	6,774,093,717	5.9	4,419,441,053	4.3	1,885,714,707	1.9
無形固定資産	11,715,840	0.1	15,700,287	0.1	19,707,313	0.0
地役権	1,269,360	0.0	1,603,772	0.0	1,960,763	0.0
ソフトウェア	10,446,480	0.1	14,096,515	0.1	17,746,550	0.0
投資	63,010	0.0	62,560	0.0	62,560	0.0
預託金	63,010	0.0	62,560	0.0	62,560	0.0
流動資産	4,913,960,971	4.3	4,293,446,623	4.2	3,919,329,472	3.9
現金預金	3,010,832,498	2.6	2,710,705,596	2.6	2,228,868,471	2.2
未収金	460,282,151	0.4	507,638,867	0.5	464,094,904	0.5
貸倒引当金	△ 13,316,359	—	△ 12,949,696	—	△ 13,377,913	—
前払費用	206,731	0.0	266,155	0.0	242,782	0.0
前払金	1,455,955,950	1.3	1,087,785,701	1.1	1,239,501,228	1.2
資産合計	113,734,582,322	100.0	101,293,963,183	100.0	99,781,491,895	100.0
	円	%	円	%	円	%
固定負債	34,301,618,239	30.2	29,085,807,836	28.7	28,957,217,654	29.0
企業債	34,301,618,239	30.2	29,084,380,332	28.7	28,956,547,920	29.0
引当金	0	0.0	1,427,504	0.0	669,734	0.0
流動負債	2,960,980,070	2.6	2,560,080,727	2.5	2,363,685,285	2.4
企業債	2,646,717,047	2.3	2,277,274,870	2.2	2,206,348,037	2.2
未払金	245,825,987	0.2	222,425,979	0.2	93,189,180	0.2
引当金	40,456,000	0.1	41,537,000	0.1	42,192,000	0.0
預り金	27,981,036	0.0	18,842,878	0.0	21,956,068	0.0
繰延収益	51,901,194,814	45.6	47,128,654,189	46.5	46,852,138,839	47.0
長期前受金	51,901,194,814	45.6	47,128,654,189	46.5	46,852,138,839	47.0
再評価積立金	11,380,077	0.0	11,390,422	0.0	11,390,422	0.0
受益者負担金	2,137,332,289	1.9	1,770,578,437	1.8	1,816,417,905	1.8
国庫補助金	46,188,660,941	40.6	41,936,718,462	41.4	41,698,577,889	41.8
県補助金	23,608,586	0.0	28,541,027	0.0	34,813,138	0.1
受贈財産評価額	3,540,212,921	3.1	3,381,425,841	3.3	3,290,939,485	3.3
資本金	20,209,359,639	17.8	18,400,420,902	18.2	17,628,570,063	17.7
剰余金	4,361,429,560	3.8	4,118,999,529	4.1	3,979,880,054	3.9
資本剰余金	1,321,525,611	1.1	1,281,069,967	1.3	1,281,517,261	1.3
受益者負担金	78,464,661	0.1	75,991,850	0.1	75,991,850	0.1
国庫補助金	643,805,521	0.5	613,058,665	0.6	613,058,665	0.6
県補助金	21,090,762	0.0	21,090,762	0.0	21,090,762	0.0
受贈財産評価額	578,164,667	0.5	570,928,690	0.6	571,375,984	0.6
利益剰余金	3,039,903,949	2.7	2,837,929,562	2.8	2,698,362,793	2.6
負債資本合計	113,734,582,322	100.0	101,293,963,183	100.0	99,781,491,895	100.0

平成30年度		平成29年度	
金額	構成比率	金額	構成比率
円	%	円	%
96,067,864,646	96.1	97,084,553,783	96.7
96,062,847,953	96.1	97,083,178,338	96.7
2,528,527,280	2.5	2,518,546,890	2.5
2,193,031,123	2.2	2,265,445,111	2.3
77,976,851,659	78.0	78,717,373,739	78.4
12,116,781,883	12.1	13,189,801,950	13.1
4,449,613	0.0	3,988,340	0.0
9,028,358	0.0	10,515,861	0.0
1,234,178,037	1.3	377,506,447	0.4
4,954,133	0.0	1,320,745	0.0
2,435,996	0.0	1,320,745	0.0
2,518,137	0.0	—	—
62,560	0.0	54,700	0.0
62,560	0.0	54,700	0.0
3,909,734,059	3.9	3,333,495,119	3.3
2,604,489,636	2.6	2,340,324,278	2.3
442,684,384	0.4	537,256,113	0.5
△ 13,814,032	—	△ 13,977,513	—
325,041	0.0	242,041	0.0
876,049,030	0.9	469,650,200	0.5
99,977,598,705	100.0	100,418,048,902	100.0
円	%	円	%
29,472,535,687	29.5	30,344,745,648	30.3
29,472,195,987	29.5	30,344,426,648	30.3
339,700	0.0	319,000	0.0
2,797,151,180	2.8	2,836,707,371	2.8
2,215,105,437	2.2	2,230,792,856	2.2
529,449,121	0.6	551,295,501	0.6
41,638,000	0.0	43,158,000	0.0
10,958,622	0.0	11,461,014	0.0
46,904,941,692	46.9	47,330,388,854	47.1
46,904,941,692	46.9	47,330,388,854	47.1
11,761,551	0.0	11,988,765	0.0
1,857,518,317	1.9	1,900,629,664	1.9
41,821,599,537	41.8	42,285,637,329	42.1
41,412,993	0.0	48,488,067	0.0
3,172,649,294	3.2	3,083,645,029	3.1
16,968,920,065	17.0	16,266,155,776	16.2
3,834,050,081	3.8	3,640,051,253	3.6
1,280,701,891	1.3	1,275,359,909	1.3
75,991,850	0.1	77,075,855	0.1
612,243,295	0.6	608,688,891	0.6
21,090,762	0.0	21,090,762	0.0
571,375,984	0.6	568,504,401	0.6
2,553,348,190	2.5	2,364,691,344	2.3
99,977,598,705	100.0	100,418,048,902	100.0

5 汚水処理原価及び使用料単価

項目		令和3年度		令和2年度		令和元年度		
		事業費 (B) 千円	原価 (B/A×1000) 円/m <sup>3</sup>	事業費 (B) 千円	原価 (B/A×1000) 円/m <sup>3</sup>	事業費 (B) 千円	原価 (B/A×1000) 円/m <sup>3</sup>	
有収水量 (A)		12,929,956 m <sup>3</sup>		12,381,256 m <sup>3</sup>		12,301,158 m <sup>3</sup>		
汚水処理原価		2,083,624	161.15	1,818,630	146.89	1,885,096	153.25	
内 訳	維持管理費	1,082,650	83.73	972,502	78.55	1,026,820	83.48	
	管渠費	66,313	5.13	57,041	4.61	70,956	5.77	
	ポンプ場費	116,231	8.99	118,684	9.59	114,489	9.31	
	処理場費	677,474	52.39	589,493	47.61	640,818	52.09	
	その他	222,632	17.22	207,284	16.74	200,557	16.31	
	資本費	1,000,974	77.42	846,128	68.34	858,276	69.77	
	企業債利息	136,176	10.53	96,956	7.83	111,242	9.04	
	減価償却費等	864,798	66.89	749,172	60.51	747,034	60.73	
	使用料単価		使用料収入 (C) 千円	単価 (C/A×1000) 円/m <sup>3</sup>	使用料収入 (C) 千円	単価 (C/A×1000) 円/m <sup>3</sup>	使用料収入 (C) 千円	単価 (C/A×1000) 円/m <sup>3</sup>
			2,208,772	170.83	2,109,223	170.36	2,114,244	171.87

平成30年度		平成29年度	
12,329,737 m <sup>3</sup>		12,427,512 m <sup>3</sup>	
事業費 (B) 千円	原価 (B/A×1000) 円/m <sup>3</sup>	事業費 (B) 千円	原価 (B/A×1000) 円/m <sup>3</sup>
1,817,379	147.40	1,799,286	144.78
927,749	75.25	928,415	74.70
76,274	6.19	74,120	5.96
87,213	7.07	88,674	7.14
559,831	45.40	564,483	45.42
204,431	16.59	201,138	16.18
889,630	72.15	870,871	70.08
125,336	10.17	141,289	11.37
764,294	61.98	729,582	58.71
使用料収入 (C) 千円	単価 (C/A×1000) 円/m <sup>3</sup>	使用料収入 (C) 千円	単価 (C/A×1000) 円/m <sup>3</sup>
2,112,622	171.34	2,125,510	171.03

6 下水道使用料

(1) 下水道使用料金表

(円)

種別		使用水量		料金
水道汚水	一般用	基本料金	10m <sup>3</sup> まで	1,300
		従量料金 (1m <sup>3</sup> につき)	10m <sup>3</sup> を超え20m <sup>3</sup> まで	155
			20m <sup>3</sup> を超え30m <sup>3</sup> まで	170
			30m <sup>3</sup> を超え50m <sup>3</sup> まで	185
			50m <sup>3</sup> を超え100m <sup>3</sup> まで	200
			100m <sup>3</sup> を超え250m <sup>3</sup> まで	210
			250m <sup>3</sup> を超え500m <sup>3</sup> まで	215
			500m <sup>3</sup> を超え1,000m <sup>3</sup> まで	220
			1,000m <sup>3</sup> を超えるもの	225
	連用給水用	基本料金	10m <sup>3</sup> まで	1,300
		従量料金 (1m <sup>3</sup> につき)	10m <sup>3</sup> を超えるもの	155
	公衆浴場用	基本料金	10m <sup>3</sup> まで	1,300
		従量料金 (1m <sup>3</sup> につき)	10m <sup>3</sup> を超え20m <sup>3</sup> まで	155
	20m <sup>3</sup> を超えるもの		36	
井戸汚水	一般用	従量料金 (1m <sup>3</sup> につき)	20m <sup>3</sup> まで	155
			20m <sup>3</sup> を超え30m <sup>3</sup> まで	170
			30m <sup>3</sup> を超え50m <sup>3</sup> まで	185
			50m <sup>3</sup> を超え100m <sup>3</sup> まで	200
			100m <sup>3</sup> を超え250m <sup>3</sup> まで	210
			250m <sup>3</sup> を超え500m <sup>3</sup> まで	215
			500m <sup>3</sup> を超え1,000m <sup>3</sup> まで	220
			1,000m <sup>3</sup> を超えるもの	225
	公衆浴場用	従量料金 (1m <sup>3</sup> につき)		36

※ 消費税及び地方消費税を除く。

(2) 使用料（水道污水）の変遷

(円)

使用水量		昭和36年 1月1日 制定	昭和49年 4月1日 改定	昭和53年 4月1日 改定	昭和56年 12月1日 改定	昭和61年 6月1日 改定	平成4年 6月1日 改定	平成8年 4月1日 改定	平成15年 10月1日 改定	平成18年 6月1日 改定
基本料金	10m <sup>3</sup> まで	水道料金 の56% (以下参照)	260	350	450	550	650	760	1,100	1,300
従量料金	10m <sup>3</sup> を超え20m <sup>3</sup> まで		28	38	49	61	73	86	125	155
	20m <sup>3</sup> を超え30m <sup>3</sup> まで		30	41	53	67	81	96	140	170
	30m <sup>3</sup> を超え50m <sup>3</sup> まで		30	41	57	73	89	106	155	185
	50m <sup>3</sup> を超え100m <sup>3</sup> まで		30	41	60	79	97	117	170	200
	100m <sup>3</sup> を超え250m <sup>3</sup> まで		32	44	63	85	106	129	175	210
	250m <sup>3</sup> を超え500m <sup>3</sup> まで		32	44	66	90	114	140	180	215
	500m <sup>3</sup> を超え1,000m <sup>3</sup> まで		32	44	68	94	122	151	185	220
1,000m <sup>3</sup> を超えるもの	32		44	69	97	130	162	190	225	

※ 消費税及び地方消費税を除く。

水道料金

用途	昭和35年6月18日改定			昭和40年10月4日改定			昭和44年9月1日改定		
	基本水量	基本料金	超過料金	基本水量	基本料金	超過料金	基本水量	基本料金	超過料金
家事用	10m <sup>3</sup>	155	18	10m <sup>3</sup>	220	26	10m <sup>3</sup>	310	33
営業用	10m <sup>3</sup>	165	20	10m <sup>3</sup>	234	28	10m <sup>3</sup>	310	38
共用	5m <sup>3</sup>	65	14	5m <sup>3</sup>	92	20	5m <sup>3</sup>	130	28
公衆用1種	50m <sup>3</sup>	650	14	50m <sup>3</sup>	923	20	50m <sup>3</sup>	1,300	1万m <sup>3</sup> まで 29
〃 2種	10,000m <sup>3</sup>	130,000	13.5	10,000m <sup>3</sup>	184,600	19			1万m <sup>3</sup> を超えるもの 28
工業用1種	100m <sup>3</sup>	1,550	16.5	100m <sup>3</sup>	2,201	23	100m <sup>3</sup>	3,100	32
〃 2種	1m <sup>3</sup>	1,550	15.5	1m <sup>3</sup>	22	22	10,000m <sup>3</sup>	310,000	31
銭湯用	100m <sup>3</sup>	1,100	13	100m <sup>3</sup>	1,562	18	100m <sup>3</sup>	2,200	23
船舶用	1m <sup>3</sup>	30	30	1m <sup>3</sup>	43	43	1m <sup>3</sup>	43	43
特別用	10m <sup>3</sup>	400	40	10m <sup>3</sup>	568	57	10m <sup>3</sup>	800	80
観賞用	10m <sup>3</sup>	800	80	10m <sup>3</sup>	1,136	114	—	—	—

旧楠町

(円)

使用水量		平成16年 10月31日 まで
基本料金	5m <sup>3</sup> まで	750
従量料金	5m <sup>3</sup> を超え20m <sup>3</sup> まで	125
	20m <sup>3</sup> を超え30m <sup>3</sup> まで	135
	30m <sup>3</sup> を超え40m <sup>3</sup> まで	145
	40m <sup>3</sup> を超え50m <sup>3</sup> まで	155
	50m <sup>3</sup> を超え100m <sup>3</sup> まで	165
	100m <sup>3</sup> を超えるもの	175

※ 消費税及び地方消費税を除く。

旧宇部・阿知須公共下水道組合

(円)

市域	使用水量		令和3年 3月31日 まで
宇部	基本料金	10m <sup>3</sup> まで	1,300
	従量料金	10m <sup>3</sup> を超え20m <sup>3</sup> まで	155
		20m <sup>3</sup> を超え30m <sup>3</sup> まで	170
		30m <sup>3</sup> を超え50m <sup>3</sup> まで	185
		50m <sup>3</sup> を超え100m <sup>3</sup> まで	200
		100m <sup>3</sup> を超え250m <sup>3</sup> まで	210
		250m <sup>3</sup> を超え500m <sup>3</sup> まで	215
		500m <sup>3</sup> を超え1,000m <sup>3</sup> まで	220
		1,000m <sup>3</sup> を超えるもの	225
山口	基本料金	10m <sup>3</sup> まで	1,300
	従量料金	10m <sup>3</sup> を超え20m <sup>3</sup> まで	150
		20m <sup>3</sup> を超え30m <sup>3</sup> まで	165
		30m <sup>3</sup> を超え100m <sup>3</sup> まで	175
		100m <sup>3</sup> を超えるもの	185

※ 消費税及び地方消費税を除く。

## (3) 収納状況（水道污水）（税込） (円)

	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
調定金額	2,781,234,778	2,645,239,833	2,612,190,351	2,614,986,384	2,631,471,799
現年	2,345,829,194	2,236,685,035	2,211,723,787	2,209,933,329	2,224,500,447
滞納	435,405,584	408,554,798	400,466,564	405,053,055	406,971,352
収納金額	2,346,020,200	2,229,971,288	2,201,481,996	2,211,797,205	2,223,311,712
現年	1,922,480,582	1,832,988,015	1,811,529,894	1,817,380,496	1,827,124,679
滞納	423,539,618	396,983,273	389,952,102	394,416,709	396,187,033
収納率	84.35%	84.30%	84.28%	84.58%	84.49%
現年	81.95%	81.95%	81.91%	82.24%	82.14%
滞納	97.27%	97.17%	97.37%	97.37%	97.35%

## (4) 収納状況（井戸污水）（税込） (円)

	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
調定金額	96,168,837	97,004,453	96,354,288	81,098,399	81,593,750
現年	83,820,182	83,459,897	85,760,760	71,698,660	71,050,616
滞納	12,348,655	13,544,556	10,593,528	9,399,739	10,543,134
収納金額	83,825,582	84,675,004	82,809,732	70,494,686	72,066,930
現年	71,476,927	71,130,448	72,237,049	61,149,977	61,729,907
滞納	12,348,655	13,544,556	10,572,683	9,344,709	10,337,023
収納率	87.17%	87.29%	85.94%	86.92%	88.32%
現年	85.27%	85.23%	84.23%	85.29%	86.88%
滞納	100.00%	100.00%	99.80%	99.41%	98.05%

## 7 受益者負担金

### (1) 負担金額

負担区の名称	単位負担金の額
東部負担区	300円
西部負担区	300円
楠負担区	400円
阿知須負担区	300円

### (2) 賦課状況

	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
賦課対象件数	643件	280件	561件	392件	437件
賦課対象面積	18.26ha	10.29ha	11.96ha	10.56ha	14.64ha

### (3) 収納状況

(円)

	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
調定金額	40,278,690	23,151,880	30,289,700	29,493,390	47,873,790
現年	38,704,340	22,437,210	29,112,110	26,988,870	44,138,060
滞納	1,574,350	714,670	1,177,590	2,504,520	3,735,730
収納金額	38,754,830	22,667,610	29,575,030	28,046,030	44,640,130
現年	38,375,970	22,432,430	29,085,590	26,860,970	43,592,620
滞納	378,860	235,180	489,440	1,185,060	1,047,510
収納率	96.22%	97.91%	97.64%	95.09%	93.25%
現年	99.15%	99.98%	99.91%	99.53%	98.76%
滞納	24.06%	32.91%	41.56%	47.32%	28.04%

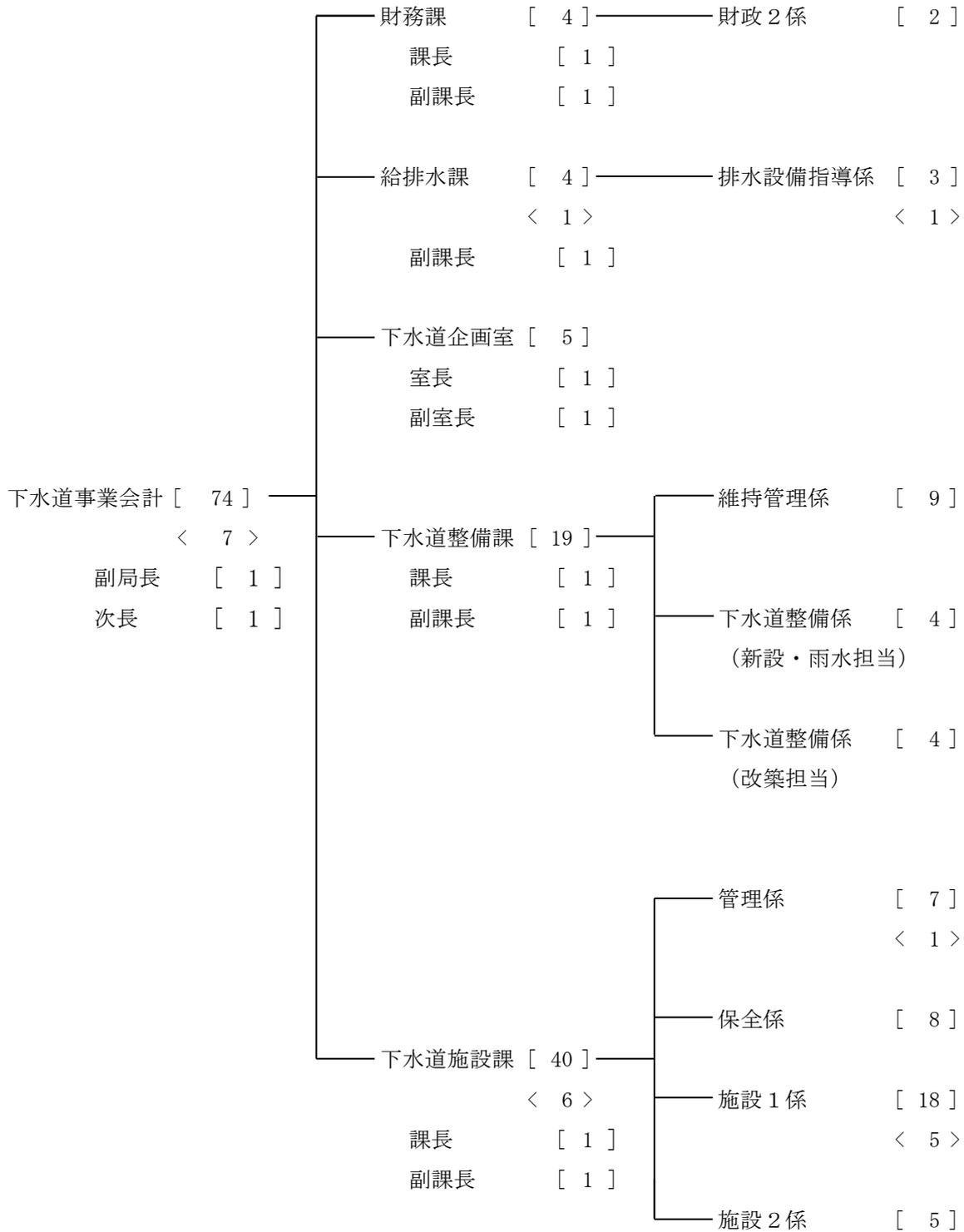


# その他

- 1 機構図
- 2 事務分掌
- 3 職員構成
- 4 参考資料

1 機構図

令和4年3月31日現在（人）



※ ＜ ＞は短時間勤務職員で外数

## 2 事務分掌

### 下水道事業会計

#### 財務課

##### 財政2係

- 一 下水道事業の予算及び決算に関すること。
- 一 下水道事業の予算の実施計画、資金計画及びその他財政計画に関すること。
- 一 下水道事業の企業債の申請及び一時借入金に関すること。
- 一 下水道事業の現金及び有価証券の出納並びに保管に関すること。
- 一 下水道事業の経理及び業務状況の報告に関すること。
- 一 公共下水道整備事業基金に関すること。

#### 給排水課

##### 排水設備指導係

- 一 排水設備工事店の指定及び登録に関すること。
- 一 排水設備責任技術者の認定及び登録に関すること。
- 一 排水設備の調査、設置指導及び検査に関すること。
- 一 除害施設の調査及び設置指導に関すること。
- 一 下水道排水設備整備資金の利子補給に関すること。
- 一 水洗便所改造資金貸付金償還金の収納整理に関すること。

#### 下水道企画室

- 一 文書の受発及び整理保存に関すること。
- 一 公共下水道の計画に関すること。
- 一 公共下水道事業の経営の企画及び調査研究に関すること。
- 一 宇部・阿知須公共下水道組合に関すること。
- 一 室の事務改善に関すること。
- 一 室の庶務に関すること。
- 一 所管に属する車両の維持管理に関すること。

#### 下水道整備課

##### 維持管理係

- 一 文書の受発及び整理保存に関すること。
- 一 下水道管渠の管理、維持及び補修に関すること。
- 一 下水道事業受益者負担金に関すること。
- 一 下水道用地の管理に関すること。
- 一 公共下水道台帳の調製に関すること。
- 一 汚水枳及び物件設置に関すること。
- 一 開発行為の審査に関すること。
- 一 課の事務改善に関すること。
- 一 課の庶務に関すること。
- 一 所管に属する車両の維持管理に関すること。

##### 下水道整備係

- 一 公共下水道の工事に関すること。
- 一 水洗便所の普及促進に関すること。

下水道施設課

管理係

- 一 文書の受発及び整理保存に関すること。
- 一 下水道施設（管渠を除く。）の庶務に関すること。
- 一 公共下水道の水質検査及び調査に関すること。
- 一 課の事務改善に関すること。
- 一 所管に属する車両の維持管理に関すること。

保全係

- 一 下水道施設（管渠を除く。）の営繕に関すること。

施設1係

- 一 下水道施設（管渠を除く。）の管理に関すること。

施設2係

- 一 下水道施設（管渠を除く。）の管理に関すること。

3 職員構成

(1) 年齢別職員構成

令和4年3月31日現在

年齢別	職種	一般行政職等		技能労務職		合計	構成比率
		職員数	構成比率	職員数	構成比率		
20歳未満		人	%	人	%	人	%
20歳以上 25歳未満		0	0.0	0	0.0	0	0.0
25歳以上 30歳未満		0	0.0	0	0.0	0	0.0
30歳以上 35歳未満		2	4.4	0	0.0	2	2.8
35歳以上 40歳未満		1	2.2	1	3.9	2	2.8
40歳以上 45歳未満		3	6.5	3	11.5	6	8.3
45歳以上 50歳未満		6	13.0	9	34.6	15	20.8
50歳以上 55歳未満		16	34.8	3	11.5	19	26.4
55歳以上 60歳未満		8	17.4	2	7.7	10	13.9
60歳以上		10	21.7	7	26.9	17	23.6
60歳以上		0	0.0	1	3.9	1	1.4
合計		46	100.0	26	100.0	72	100.0

※ 再任用職員、臨時的任用職員及び会計年度任用職員を除く。

(2) 勤続年数別職員構成

令和4年3月31日現在

年数別	職種	一般行政職等		技能労務職		合計	構成比率
		職員数	構成比率	職員数	構成比率		
1年未満		人	%	人	%	人	%
1年未満		0	0.0	0	0.0	0	0.0
1年以上 3年未満		1	2.2	0	0.0	1	1.4
3年以上 5年未満		2	4.4	0	0.0	2	2.8
5年以上 10年未満		1	2.2	0	0.0	1	1.4
10年以上 15年未満		2	4.4	3	11.6	5	6.9
15年以上 20年未満		5	10.8	8	30.8	13	18.0
20年以上 25年未満		7	15.2	5	19.2	12	16.7
25年以上 30年未満		17	36.9	1	3.8	18	25.0
30年以上 35年未満		8	17.4	1	3.8	9	12.5
35年以上		3	6.5	8	30.8	11	15.3
合計		46	100.0	26	100.0	72	100.0

※ 再任用職員、臨時的任用職員及び会計年度任用職員を除く。

4 参考資料

宇部市水道料金表

メーター口径 及び用途	基本料金 (1ヶ月につき)	従量料金(1m <sup>3</sup> につき)		
		第1段	第2段	第3段
13 mm	10m <sup>3</sup> まで 1,130 円	10m <sup>3</sup> を超え	20m <sup>3</sup> を超え	100m <sup>3</sup> を 超えるもの
20 mm	10m <sup>3</sup> まで 1,360 円	20m <sup>3</sup> まで	100m <sup>3</sup> まで	
25 mm	10m <sup>3</sup> まで 1,910 円	168 円	202 円	244 円
30 mm	2,750 円	20m <sup>3</sup> まで  168 円	20m <sup>3</sup> を超え  100m <sup>3</sup> まで  202 円	100m <sup>3</sup> を 超えるもの  244 円
40 mm	5,000 円			
50 mm	10,000 円			
75 mm	24,600 円			
100 mm	50,400 円			
150 mm	144,000 円			
200 mm	303,000 円			
250 mm	547,000 円			
連用給水用	10m <sup>3</sup> まで 1,130 円	10m <sup>3</sup> を超えるもの		142 円
公衆浴場用	各メーター口径 基本料金	メーター口径25mm以下のとき		20m <sup>3</sup> を 超えるもの  70 円
		10m <sup>3</sup> を超え20m <sup>3</sup> まで	168 円	
		メーター口径30mm以上のとき		
		20m <sup>3</sup> まで	168 円	

※ 消費税及び地方消費税を除く。

# 令和3年度 宇部市下水道事業年報

令和4年9月発行

---

## 宇部市土木建設部

〒755-0027 宇部市港町一丁目11番30号

TEL 0836(21)2417 FAX 0836(21)2179

E-mail: [suisui@city.ube.yamaguchi.jp](mailto:suisui@city.ube.yamaguchi.jp)

---